

某内々伺書(智光院品々入料中借願につき)		1通・切紙	せ116-59
某用状[覚](印書受取願につき)		1通・横切継紙	せ116-60
用度属伺書(端裏書)[去午十二月中岩野村其外え臨時御賄代御下ヶ之義再伺] 用度属→	6月2日	1通・横切継紙	せ116-61
嘉兵衛達[覚](御下ヶ金勘定並びに取計につき) 嘉兵衛→(草間)一路様・(佐藤)為之進様・(岡野)弥右衛門様	8月4日	1通・横切継紙	せ116-62
御普請方市右衛門助小林五十吉金銭受取証文請[覚](入料金30両につき) 御普請方市右衛門助小林五十吉→海限辰男殿	午2月晦日	1通・横切継紙	せ116-63
月岡善平書状(真田幸民京都より帰藩の諸費用報告等につき) (月岡)善平→(酒井)市治様・(水野)清右衛門様	8月4日	1通・横切継紙	せ116-64
某差引勘定帳(7月31日～2月2日品々入料金御下ヶ金につき)		1通・横切継紙	せ116-65
御収納郡方申上書(端裏書)[御判物村人等片道分御切御賄之儀付申上]	12月	1通・横切継紙	せ116-66
力他一名伺書[覚](御内用ラッパ執行のためカビタン招請の入用金内借願につき) カ・(飯島)興作→端虫損あり	5月5日	1通・横切継紙	せ116-67
出納掛申上書并下ヶ札(端裏書)[諸向御払金之義二付申上](諸向払金不足のため東京より到来の金札と製造金手形引替の件伺につき) 出納掛→	(明治2年)巳12月	1通・横切継紙	せ116-68
岡村用状[記](酒代等代金勘定につき) 岡村→国田様	卯正月	1通・横切継紙	せ116-69
藤右衛門用状[覚](戸棚等代金勘定につき) 藤右衛門→上	巳3月	1通・切紙	せ116-70
用度属申上書[覚](御台所入料払残分勘定につき) 用度属→	12月	1通・横切継紙	せ116-71
御買物役伺書(端裏書)[御下金之義伺](舞鶴山御両宮臨時御祭礼等入料金につき) 御買物役→	閏10月	1通・切紙	せ116-72
(旭屋惣左衛門御下ヶ金支払関係書類綴)			せ116-73
水野清右衛門金銭受取証文[覚](御用達上納者へ桃燈下賜のため旭屋惣左衛門への下ヶ金につき) 水野清右衛門→	明治3年午12月	1通・横切紙	せ116-73-1
旭屋惣左衛門申上書[覚](桃燈等代等勘定につき) 旭屋惣左衛門→御金掛様御役所	(明治3年)午12月	1通・横切継紙	せ116-73-2
某用状(洗紙代等勘定につき)		1通・横切継紙	せ116-74
駒村佐十郎書状(近習方借入荷物賃銭過払のため割戻につき) 駒村佐十郎→平野玄祐様	24日	1通・横切継紙	せ116-75
笹屋平治郎金銭受取証文[覚](毛朱馬代金につき) 笹屋平治郎→馬場様	2月23日	1通・横切紙	せ116-76
某用状(丑3月8日より4月17日まで入料金差引勘定につき)		1通・切紙	せ116-77
計政副主事伺書(端裏書)[矢代村安兵衛為替金御金払之儀伺](東京より金銭到着まで贖具金台分にて繰替につき) 計政副主事→	12月	1通・横切継紙	せ116-78
某伺書(矢代村安兵衛為替金等御下ヶ金余分製造御手形にて繰替願につき)	9月	1通・横切継紙	せ116-79
(借入金並びに引替金等諸品諸書類綴)			せ116-80

2 藩政／財方／藩庁内諸金銭出納・勘定

某伺書(端裏書)[銀台式万金御金出之義二付伺]		1通・横切継紙	せ116-80-1
鎌原伊野右衛門伺書(五一郎助の件等大五之丞へ送付の手紙につき) 鎌原伊野右衛門→岡野弥左衛門殿	5月27日	1通・横切継紙	せ116-80-2
某用状(端裏書)[式分金取調申上] 下ケ札あり		1通・横切継紙	せ116-80-3
某申上書(端裏書)[水内郡今井村堀割人足積直之義被下申上](千曲川曲流の場所堀割人足下ケ金につき)	8月	1通・横切継紙	せ116-80-4
計政副主事申上書(端裏書)[志垣村岡本広太麻買増代金御申借之儀二而之錢相済分申上] 計政副主事→		1通・横切継紙	せ116-80-5
某申上書(端裏書)[東京え御差立宿継御用錢之儀付申上]	10月	1通・横切継紙	せ116-80-6
計政副主事申上書(端裏書)[宮下有常飯米差支歎願之義二付申上] 計政副主事→	10月	1通・横切継紙	せ116-80-7
某伺書(端裏書)[全国錢札他藩縣之分取集之義伺]	8月	1通・横切継紙	せ116-80-8
武庫司事添伺貼紙綴(山浦四郎中借金官札引換并藩中拝借代金払底の件伺につき) 武庫司事→	7月13日	1通・切紙	せ116-80-9
某申上書(御挨拶頂戴の望なき旨につき)		1通・切紙	せ116-80-10
某用状(村上莫俊金銭受取証文を片岡十郎兵衛持参につき)		1通・横切継紙	せ116-80-11
計政副主事申上書(端裏書)[金手形引替之儀二付申上] 計政副主事→	10月	1通・横切継紙	せ116-80-12
計政副主事申上書(端裏書)[東京表へ正金御上納之儀二付申上] 計政副主事→	10月	1通・横切継紙	せ116-80-13
計政副主事申上書(端裏書)[新御殿守役金手形引替之義二付申上] 計政副主事→	10月	1通・横切継紙	せ116-80-14
某申上書(端裏書)[矢代村安兵衛え為替金御下ケ之義二付申上]	9月	1通・横切継紙	せ116-80-15
計政副主事用状(別紙伺當膳司へ申渡につき)		1通・切紙	せ116-80-16
某用状(卯年米代金書出につき)		1通・切紙	せ116-80-17
岡野敬一郎用状(京都御用金出金願につき) (岡野)敬一郎→(岸)善八様	7月4日	1通・横切継紙	せ116-80-18
丸山龍藏内々申上書(端裏書)[矢代宿助郷之義二付御内々申上] (丸山)龍藏→	2月	1通・横切継紙	せ116-80-19
斎藤新藏他一名伺書(家中難渋のため融通講組織のため廻村役任命願につき) 斎藤新藏・馬場広人→	4月	1通・横切継紙	せ116-80-20
(書記内々申上書包紙) せ116-80-22の包紙		1点・包紙	せ116-80-21
書記内々申上書(御賞筋下賜願につき) 書記→	12月	1通・横切継紙	せ116-80-22
山越右馬允用状(貴書三丸へ回覧についての御礼申上る旨につき) 山越右馬允→宮下孫兵衛様	3月29日	1通・切紙	せ116-80-23
御勝手元々伺書(端裏書)[御内慮伺](御支配所修験内献金願につき) 御勝手元々→	10月	1通・横切継紙	せ116-80-24
某用状(端裏書)[御奥女中久妊身御用意物之義申上]	11月	1通・横切継紙	せ116-80-25
原田亀尾申上書写(書面の金高御下げ願につき) 原田亀尾→竹内新七様 せ116-80-1とせ116-80-2の間に挿入	8月	1通・横切継紙	せ116-81

計政方申上書(端裏書)[菊屋佐助等御下ケ金之義付申上] 計政方→ せ116-80-1とせ116-80-2の間に挿入 (御勘定吟味方坂本五一郎書状綴)	11月	1通・横切継紙	せ116-82
坂本五一郎書状(大坂為替金並びに御金藏御郡代等御借入につき) (坂本)五一郎→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	12月24日	1通・横切継紙	せ116-83-1
坂本五一郎書状(入用金並びに借入金詳細取調につき) (坂本)五一郎→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	辰	1通・横切継紙	せ116-83-2
坂本五一郎書状(大坂御借入金証文御下げ願につき) (坂本)五一郎→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	正月19日	1通・横切継紙	せ116-83-3
坂本五一郎書状(御普請入用玄米買上等につき) (坂本)五一郎→御兩人様(片桐重之助・高野覚之進)	正月17日	1通・横切継紙	せ116-83-4
坂本五一郎書状(借入金200両返金願等につき) (坂本)五一郎→(片桐)重之助・(高野)覚之進	2月5日	1通・横切継紙	せ116-83-5
坂本五一郎書状(此表にて高利借入の件伺等につき) (坂本)五一郎→(高野)重之進	2月29日	1通・横切継紙	せ116-83-6
坂本五一郎書状(此表にて借入の指示承知并利足の上限伺等につき) (坂本)五一郎→(片桐)重之助・(高野)覚之進	正月29日	1通・横切継紙	せ116-83-7
中澤保孝用状[記](瓶子壺対代金1円37銭5厘矢野清智へ渡につき) 中澤保孝→佐藤則善殿	(明治)9年7月	1通・横切継紙	せ116-84

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

勘定所・計政局

某用状(横山札役幸左衛門諸役御免20石分等内訳書上につき)		1通・横切継紙	せ5
御勝手元へ申上書(依田又兵衛免代の儀問合わせにつき) 御勝手元へ→	9月12日	1通・切紙	せ6
(宮下左伝治内水絵図面並びに真田志摩守伺済の旨端裏書)	(文化)8年8月25日	1点・縦紙	せ7
御守役鹿野茂手木他四名返書(藩主並びに若君の様子につき) (鹿野)茂手木・(竹内)晋平・(谷口)弥右衛門他1名→(宮下)鎌大夫様・源大夫様・(磯田)音門様他1名	正月19日	1通・横切継紙	せ8
某用状(村方武具拝借請書留書) 前欠 (社倉方関係書類綴)	11月22日	1通・横切継紙	せ9
某用状(社倉方運用米取調べにつき)		1通・横切継紙	せ10
某用状(戌年社倉方運用米取り調べにつき)		1通・横切継紙	せ10-1
某用状(社倉方運用米取調べにつき)	亥8月12日	1通・横切継紙	せ10-2
社倉懸申上書[覚](加賀井村・水内村貸借初代金書上げにつき) 社倉掛へ→	9月	1通・横切継紙	せ10-3
某用状[覚](貸借初代金書上につき)		1通・横切継紙	せ10-4
融通方御元用状(蔵入分粉量書上につき) 融通方御元へ→	亥10月	1通・横切継紙	せ10-5
		1通・横切継紙	せ10-6

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

(金銭勘定関係書類綴 7月18日～7月21日) 紙縫一括			せ11
(金銭取調帳)	7月18日	1冊・横長半	せ11-1
(金銭取調帳)	7月19日	1冊・横長半	せ11-2
某用状(初懸への支払金等勘定につき)	7月19日	1通・横切継紙	せ11-3
某用状(受取金金額勘定につき)	7月21日	1通・切紙	せ11-4
某用状(初方等への支給金金額勘定につき)	7月21日	1通・横切継紙	せ11-5
某用状(初懸への支給金金額勘定につき)	7月22日	1通・切紙	せ11-6
某用状(道橋等への支給金金額勘定につき)	7月23日	1通・切紙	せ11-7
某用状[七月廿四日調](金銭勘定につき)	7月24日	1通・切紙	せ11-8
(亥年分元方諸経費取調書類綴) 紙縫一括			せ12
某用状(亥年社倉元金覚につき)		1通・切紙	せ12-1
[亥御元](御側金等等臨時金勘定書)		1冊・横長半	せ12-2
[亥御元金調](御側金等等諸費書出につき)		1冊・横長半	せ12-3
某用状(御内用繰廻亥御元等諸費受取につき)		1通・横折紙	せ12-4
(課業金並びに当用金等元利取調帳) 拝借掛→	亥2月	1冊・横長半	せ12-5
拝借懸上納金勘定書[酉年分戌正月より上納辻](当用金・伊藤口金並びに課業金等につき)	亥3月	1通・横切継紙	せ12-6
竹内多吉用状[覚](戌正月～12月分内借金並びに当用金三納辻勘定書)(竹内)多吉→		1通・横切紙	せ12-7
某用状(御前様賄料繰廻金並びに返済引当金等勘定書)		1通・横切紙	せ12-8
某用状(出格御趣意家中拝借意御元等諸費取調書) 下ヶ札付		1通・切紙	せ12-9
某用状[覚](非常困亥等の元金取調書)		1通・横切継紙	せ12-10
某当用金勘定書(亥年分当用貸出元金等取調書)		1通・横切継紙	せ12-11
堀内用状(八田慎蔵御切米代・八田喜兵衛御扶持亥年分の元金取調書)		1通・切紙	せ12-12
某用状[覚](御勘定書之口等亥年分亥年分元金へ繰入金取調につき)		1通・横切継紙	せ12-13
某用状[覚](評議役之口等亥年分元金取調書)		1通・切紙	せ12-14
某用状(融通金御繰廻亥年分元金へ繰入分元金取調書)	正月	1通・切紙	せ12-15
(計政二等算計司関係書類一括 宝暦7年～明治3年) 巻込一括			せ13
興津権右衛門金銭受取証文[覚](側金繰廻し礼金10両につき) 興津権右衛門→佐藤為之進殿	明治2年巳口	1通・縦紙	せ13-2
宮原有三畏玄米受取証文(無宿入牢人共賄米8斗7升定番へ支給につき) 宮原有三畏→春山喜平治殿・入弥左衛門殿・田澤康助殿他1名	明治4年壬申7月	1通・縦紙	せ13-3
松本賢吾金銭受取証文[覚](真晴院様賞典72両余につき) 松本賢吾→入弥左衛門殿・駒村佐十郎殿	明治3年午9月	1通・縦紙	せ13-4
馬場弥三郎金銭受取証文[覚](貞松院様賞典72両余につき) 馬場弥三郎→岡野敬一郎殿・岸善八殿	明治3年午9月	1通・縦紙	せ13-5

宮入慎七郎金銭受取証文〔覚〕(家禄24兩表払につき) 宮入慎七郎→入弥左衛門殿・春山喜平治殿・野中直之助殿他1名	明治3年午9月	1通・竪紙	せ13-6
大野健左衛門内願書〔乍恐以書付御内々奉願候〕(伊勢町河内屋民之助弟栄十郎小作継続につき) 大野健左衛門→	亥12月	1通・横切継紙	せ14
善光寺町宿中町嘉十郎願書〔乍恐以書付奉願候〕(拝借粉代金日限取極上納につき) 善光寺町宿中町嘉十郎→水井忠蔵様・春日儀左衛門様・野中八兵衛様	天保5年午2月2日	1通・竪継紙	せ15
某用状(弥左衛門抱屋敷普請代金未上納につき)	3月	1通・横切継紙	せ16
(課業銭並びに別段内預り金等勘定帳)		1冊・横長半	せ17
宮入慎七郎金銭受取証文〔覚〕(殿様番9年分手割金120両につき) 宮入慎七郎→入弥左衛門殿・春山喜平治殿・野中直之助殿他1名	明治3年午9月	1通・竪紙	せ18
某書状(西条村表組用水分水口手入につき) 虫損あり、下ケ札付	5月29日	1通・横切継紙	せ19
某用状(内預け金・為替金等5筆分金銭勘定につき)		1通・横切継紙	せ20
(町川田村川水破積切につき笈設置代金寄帳)		1冊・竪半	せ21
仮屋英助用状〔覚〕(松本様より進献の袴地代料につき) 仮屋英助→表御納戸御役所 付札あり	辰12月	1通・切紙	せ22
(南部坂御屋敷御奥関係書類一括) 紙縫一括			せ23
(紙縫)		1点・紙縫	せ23-1
御勘定吟味申上書(端裏書)〔南部坂御屋敷御奥御殿并御門御長屋御普請金凡申上〕 下ケ札あり	未8月	1通・横切継紙	せ23-2
岡嶋亦蔵他一名申上書(端裏書)〔南部坂御奥御門御入料金之儀付申上〕(御入料金問合わせ別紙添え返答につき) 岡嶋亦蔵・金児丈助→ 下ケ札あり	8月	1通・横切継紙	せ23-3
御勘定吟味申上書(別紙御入料取調増金等取決めにつき) 御勘定吟味→	8月4日	1通・横切継紙	せ23-4
御勘定吟味申上書(端裏書)〔南部坂御廣式上番御徒士御目録被下之義申上〕(徒士交代につき) 御勘定吟味→	11月	1通・横切継紙	せ23-5
御勘定吟味返答書(端裏書)〔南部坂御廣式上番御手当之儀申上〕 御勘定吟味→	11月	1通・横切紙	せ23-6
小山田采女用状(御勘定吟味取調普請入料につき) (小山田)采女→(矢沢)監物様	8月21日	1通・横切継紙	せ23-7
御徒目付伺書(嶋田兵助他1名南部坂御廣式上番人少のため勤仕継続願につき) 御徒目付→	4月	1通・横切継紙	せ23-8
拓植嘉兵衛口上書〔覚〕(長巻請鎗修復のため拝借願につき) 拓植嘉兵衛→岸太五之丞様・山崎貫兵衛様 虫損あり、包紙入	丑12月	1通・横切継紙	せ24
木町貞蔵申上書〔乍恐以口上書御届ヶ申上候〕(玄米・白米・粉御売払の件につき) 木町貞蔵→御奉行所 虫損あり	午6月口	1通・横切継紙	せ25
某内々申上書〔口上申上〕(市郎治諏訪部家冥加御用達金上納取調の件につき)		1通・横切継紙	せ26
(諸書類一括) 紙縫一括			せ27
某用状(川々船付物入のため借入金引当等につき)	5月24日	1通・横切継紙	せ27-1

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

某用状(在城・在府中月々江戸御金出別帳と照合につき) 裏に貼紙にて伺書追加		1通・切紙	せ27-2
(諸書類一括 天保6年～明治12年) 包紙一括			せ28
[大御前様御絵御ふくさ](包紙) せ28を一括、旧史料館紐にて縛る		1点・包紙	せ28-1
(石山寺什物関係書類一括) 包紙一括			せ28-2
[石山寺什物紫式部所持之硯写](包紙)		1点・包紙	せ28-2-1
某用状[石山寺什物紫式部所持之硯写](什物模写図)		1通・竪紙	せ28-2-2
某用状[百葛遍知恩寺什物](什物模写図)		1通・竪紙	せ28-2-3
(栞)		1点・栞	せ28-2-4
[扶桑拾葉集抜書俊成卿九十賀記]		1冊・竪半	せ28-3
(入牢者賄方取調帳) 東寺尾村元御牢取締役須田孫六→元松代廳御役所	明治5年壬申10月	1冊・横長半	せ28-4
(野本力太郎方不足本口糶取調帳)「仕立倉田三之助」とあり		1冊・横長半	せ28-5
[御禮順](諸職御礼順書)	(明治4年)辛未5月	1冊・横長半	せ28-6
(一人別毎金銭並びに米数書付帳)		1冊・横長半	せ28-7
赤沢蘭溪申上書(9月中改名、任免、賞典申渡留)(赤澤)蘭溪→	9月晦日	1冊・横長半	せ28-8
(御中元贈答品日記)		1冊・横長半	せ28-9
(臨時入用関係書類一括) 紐一括			せ28-10
(紐)		1点・紐	せ28-10-1
(天保7年より安政2年まで御普請等品々御臨時入用差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-10-2
(天保7年より天保11年まで殿様・若様品々御臨時入用差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-10-3
(弘化2年より嘉永2年まで殿様・若様品々御臨時入用差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-10-4
(安政2年より安政6年まで品々御臨時入用差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-10-5
(銭両替・入金・出金御改書出帳)	酉12月	1冊・横長半	せ28-11
(丑年寺院等への合力糶高勘定帳)	丑	1冊・横長半	せ28-12
(亥年より辰年まで武具等御修復入用勘定帳)		1冊・横長半	せ28-13
(武具修理・買上等代金書出帳)		1冊・横長半	せ28-14
[御当用](当用金収支勘定帳)		1冊・横長半	せ28-15
(表御門等御入用金銭受取証文写並びに御賞筋記録)		1冊・竪半	せ28-16
(嘉永元年～嘉永4年当用・武器・馬方等諸口支払日記)		1冊・横長半	せ28-17
[子正月より七月迄受払寄出](糶支給・郡代役所への返金・深川屋敷手段金・中借金等差引残金勘定帳)		1冊・横長半	せ28-18
(下小島田村喜惣治牧島村清十郎より地所引戻一件留) 封筒挿入	天保6年	1冊・竪半	せ28-19

(明和2年～寛政11年村々御手当詮議掛・水帳調掛並びに増減帳懸等諸役向増減人別書出帳) 御勘定吟味→ 旧史料館ラベル付		1冊・横長半	せ28-20
望月主水用状并勘定吟味勘返状(大名貸不行届についての宮下兵馬大阪よりの書状回覧願につき) (望月)主水→(竹内)金左衛門様 旧史料館ラベル付	12月8日	1冊・横長半	せ28-21
(御上屋敷奥向御出入人別書出帳)		1冊・横長半	せ28-22
(貸借金関係書類綴)			せ28-23
岡本廣太願書[乍恐以書付奉歎願候](村方困窮人救済のため別紙書出の御用達金返却につき) 志垣村岡本廣太→計政出納御掛り御役所	明治3年午6月	1通・豎半	せ28-23-1
岡本廣太申上書[覚](御用達金書き出しにつき) 志垣村岡本廣太→計政出納御掛り御役所	明治3年末6月	1通・豎半	せ28-23-2
(使丁昇給願書等関係書類綴) 下ヶ札あり、罨紙使用	(明治)12年6月	1冊・豎半	せ28-24
(残錢幣通用停止通告関係書類留並びに伊奈県印鑑回覧願綴) 伊那県→	(明治3年正月)	1冊・豎半	せ28-25
(磯田小藤太病気のため附助分御月割金預覚・御中貸覚)		1冊・横半半	せ28-26
[祢津綾之介上納之覚](文政13年3月～弘化元年12月上納金につき)	弘化元年12月	1冊・横半半	せ28-27
(川欠地村別反別取調帳)		1通・豎半	せ28-28
(宝暦6年～9年諸事触達留)		1通・豎半	せ28-29
(権大參事大熊衛士日記表紙) 虫損あり、表紙のみ	明治2年巳	1通・豎紙	せ28-30
(寺内孫之進御勘定帳表紙) 虫損あり、表紙のみ		1通・切紙	せ28-31
(上納証綴 明治4年10月～11月)			せ28-32
矢野唯見上納証[覚](佐野八丁御林立木御払冥加金50両につき) 矢野唯見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末10月	1通・豎紙	せ28-32-1
宮入半之丞他一名上納証[覚](白鳥大明神縣祭神職5人へ御目録下賜の内返上分につき) 宮入半之丞・阪西廣見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未10月	1通・豎紙	せ28-32-2
矢野唯見上納証[覚](破牢人召捕方入料中借金返上につき) 矢野唯見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未10月	1通・豎紙	せ28-32-3
矢野唯見上納証[覚](山田御林立木御払冥加金20両につき) 矢野唯見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未10月	1通・豎紙	せ28-32-4
齋藤善九郎上納証[覚](学校構内桐立木御払代金2分につき) 齋藤善九郎→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未10月	1通・豎紙	せ28-32-5
倉島清弥上納証[覚](東京よりの御用状添賃残金につき) 倉島清弥→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未10月	1通・豎紙	せ28-32-6
宮入半之丞他一名上納証[覚](招魂祭・天長節御入料の内中借金につき) 宮入半之丞・阪西廣見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年辛未11月	1通・豎紙	せ28-32-7
(上納証綴 明治4年9月)			せ28-33
矢野唯見上納証[覚](上平村地附山立木・若宮御林御下ヶ山冥加金につき) 矢野唯見→中嶋渡浪殿・徳嵩廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月19日	1通・豎紙	せ28-33-1

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

佐藤伊与之進上納証[覚](杵野御林伐木御払代金の内金65両3分につき) 佐藤伊与之進→中嶋渡浪殿・徳高廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月	1通・豎紙	せ28-33-2
矢野唯見上納証[覚](小網・山田・佐野御林立木御払冥加金につき) 矢野唯見→中嶋渡浪殿・徳高廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月19日	1通・豎紙	せ28-33-3
富永新平上納証[覚](当月3日借分返却につき) 富永新平→中嶋渡浪殿・徳高廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月8日	1通・豎紙	せ28-33-4
小林惣兵衛上納証[覚](東京夜宿継御用状添賃銭残分につき) 小林惣兵衛→中嶋渡浪殿・徳高廣馬殿・野本力太郎殿	明治4年末9月	1通・豎紙	せ28-33-5
(上納金関係書類綴 明治4年3月～5月)			せ28-34
北澤冠岳上納証[覚](長局払代金につき) 北澤冠岳→中嶋渡浪殿・池田富之進殿・徳高廣馬殿他2名	明治4年末3月	1通・豎紙	せ28-34-1
[諸上納金銭差出通] 会計方諸事掛→	(明治4年)辛未3月	1通・豎半	せ28-34-2
太田藤右衛門上納証[覚](御預所御雇足輕扶持方代金につき) 太田藤右衛門/(奥印)三澤清美/(奥印)玉井浅之進→中嶋渡浪殿・池田富之進殿・徳高廣馬殿他2名	明治4年末3月	1通・豎継紙	せ28-34-3
[定例玄米差出帳](湯田中村難渋人別への施行米代金20両) 春日榮作→	明治4年末3月	1通・豎半	せ28-34-4
相沢宇忠治上納証[覚](去巳年貸借初代金につき) 御城内元々相沢宇忠治/(奥印)森木一三/(奥印)鈴木富治→谷口大角殿・中嶋渡浪殿・池田富之進殿他1名	明治4年末3月	1通・豎継紙	せ28-34-5
相沢宇忠治上納証[覚](去午年貸借初代金につき) 御城内元々相沢宇忠治/(奥印)前嶋有年/(奥印)田澤廣初→中嶋渡浪殿・池田富之進殿・徳高廣馬殿他2名	明治4年末3月	1通・豎継紙	せ28-34-6
[金銭諸上納差出帳](郡岐初代金為替切手11通並びに広土方初代金藩札22両等) 民事掛算師→	明治4年末3月	1通・豎半	せ28-34-7
[金銭上納差出通帳](須坂町数新七より借入金預金等) 会計掛→	明治4年末3月	1通・豎半	せ28-34-8
草間一路上納証[覚](戸隠神領上野村等夫喰拝借金の内司金方へ上納につき) 草間一路→中嶋渡浪殿・池田富之進殿・徳高廣馬殿他2名	明治4年末3月	1通・豎紙	せ28-34-9
[越後御買上米請[]](買上米数量書出につき)(御勘定方)鈴木[](富治)・水野清[](右衛門)・竹内[]他1名→田中増治殿 表紙破損、旧史料館ラベル付	慶応3年卯3月	1冊・横半半	せ28-35
(奥行列帳並びに順操院殿行列人足取調書) 貼紙に行列人足を書出		1冊・横長半	せ28-36
某達書(法事焼香として宝琳院並び貞松院より一金進物につき) 帳面断簡か		1通・豎紙	せ28-37
(正月8日～正月12日年頭御礼次第) 前後欠か		1通・豎半	せ28-38
(江戸城御門番勤方次第書) 詰合前沢助之進・原織部・岩崎四兵衛他1名→ 表紙・裏表紙虫損大	文政6年癸未9月	1通・豎半	せ28-39
(決算関係書類一括) 紙縫一括			せ28-40
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-40-1
[四月御元](収納方・余慶方・払方請払勘定帳)(元方御金奉行)→		1冊・横長半	せ28-40-2

[閏四月御元](収納方・余慶方・払方請払勘定帳)(元方御金奉行)→-		1冊・横長半	せ28-40-3
[五月御元](収納方・余慶方・払方請払勘定帳)(元方御金奉行)→-		1冊・横長半	せ28-40-4
[四月中](御納戸請払勘定帳)		1冊・横長半	せ28-40-5
[三月残金](収納方・余慶方・払方・勘定元 ^ハ 等請払勘定帳)		1冊・横長半	せ28-40-6
(辰年諸払・借入金並びに内預勘定帳)		1冊・横長半	せ28-40-7
(4月並びに閏4月諸向入用金勘定帳)		1冊・横長半	せ28-40-8
(嘉永元年～嘉永5年帳元差引記録帳)		1冊・横長半	せ28-41
(幕末期御馬関係諸入用差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-42
(價金の件願書並びに飯米の件上納書等諸品留書)		1冊・横半半	せ28-43
(元治～明治期借入金返済状況取調帳) 下ケ札多数		1冊・縦半	せ28-44
(弘化3年銅山師惣兵衛 石吹立諸入用金並びに嘉永3年～嘉永4年銀座御前借金拝借人別記録帳)		1冊・縦半	せ28-45
(諸書類一括) 巻込一括			せ28-46
(戊辰戦争関係諸人足給金並びに村方賄代内訳勘定帳) 罫紙		1冊・縦半	せ28-46-1
(穀問屋松井孫兵衛関係書類綴)			せ28-46-2
松井孫兵衛金銭受取証文[覚](金5両につき)(松代中町穀問屋)松井(孫兵衛)→-	(嘉永2年)西9月9日	1通・切紙	せ28-46-2-1
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文[覚](白米・大豆代金8両につき)(松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→銀銅山御会所御掛り中様	(嘉永2年)西10月7日	1通・切紙	せ28-46-2-2
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文[覚](米代金13両につき)(松代中町松井)穀問屋孫兵衛→銀銅山御会所御掛り中様	(嘉永2年)西12月9日	1通・切紙	せ28-46-2-3
穀問屋松井孫兵衛受取証文[覚](白米代金12両につき)(松代中町)穀問屋(松井)孫兵衛→銀銅山御会所御掛り中様	(嘉永2年)西12月10日	1通・切紙	せ28-46-2-4
穀問屋松井孫兵衛受取証文[覚](代金3両1分銀6匁1分4厘につき)(松代中町穀問屋松井)孫兵衛→銀銅山御会所御役人衆中	(嘉永3年)戊2月8日	1通・切紙	せ28-46-2-5
穀問屋松井孫兵衛他一名拝借証文[御借用申金子之事](金100両につき)中町穀問屋(松井)孫兵衛・受人弥五郎→銀銅山御掛り御役所	嘉永3年戊4月	1通・縦紙	せ28-46-2-6
穀問屋松井孫兵衛用状[覚](金20両につき)(松代中町)松井(孫兵衛)→-	(嘉永3年)戊7月8日	1通・切紙	せ28-46-2-7
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文[覚](金28両につき)(松代中町)松井孫兵衛→野仲喜左衛門様 せ28-46-2-8-3に貼り付け	(嘉永3年)戊10月20日	1通・切紙	せ28-46-2-8-1
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文(拝借金100両のうち50両請取につき)(松代中町)穀問屋孫兵衛→銀銅山御掛り→野中喜左衛門様 せ28-46-2-8-3に貼り付け	(嘉永3年)戊9月21日	1通・縦紙	せ28-46-2-8-2
穀問屋松井孫兵衛他一名借用証文[御借用申金子之事](金100両につき)(松代)中町穀問屋孫兵衛・請人弥五郎→野中喜左衛門様・関田慶左衛門様	嘉永3年戊9月	1通・縦紙	せ28-46-2-8-3

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

穀問屋孫兵衛他一名借用証文〔御借用申金子之事〕 (金100両につき) (松代)中町穀問屋孫兵衛・請人弥五郎→銀山御懸り関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永)3年戊11月	1通・竪紙	せ28-46-2-9
穀問屋松井孫兵衛金銭拝借証文〔覚〕(15両につき) (松代)中町穀問屋)松井孫兵衛→関田慶左衛門様	(嘉永4年)亥3月朔日	1通・横切継紙	せ28-46-2-10
穀問屋松井孫兵衛金銭借用証文〔覚〕(30両につき) (松代)中町穀問屋)松井孫兵衛→野中喜左衛門様	嘉永4年3月18日	1通・切紙	せ28-46-2-11
穀問屋松井孫兵衛他一名金銭受取証文〔覚〕(30両につき) (松代)中町)穀問屋孫兵衛・代重郎治→野中喜左衛門様	(嘉永4年)亥5月17日	1通・切紙	せ28-46-2-12
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(穀代金10両につき) (松代)中町)穀問屋孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	嘉永4年辛亥12月12日	1通・切紙	せ28-46-2-13
穀問屋松井孫兵衛金銭借用証文〔御借用金証文之事〕 (商売仕入金差支のため金15両借用につき) (松代)中町)穀問屋(松井)孫兵衛→野中喜左衛門様	嘉永4年亥12月26日	1通・切紙	せ28-46-2-14
穀問屋松井孫兵衛金銭借用証文〔御借用金証文之事〕 (商売仕入金差支のため金15両借用につき) (松代)中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	嘉永5年子正月	1通・竪紙	せ28-46-2-15
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(穀代金18両につき) (松代)中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	嘉永5年壬子4月	1通・切紙	せ28-46-2-16
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代内金20両につき) (松代)中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永5年)子7月晦日	1通・切紙	せ28-46-2-17
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金10両につき) (松代)中町)穀問屋(松井)孫兵衛→野中喜左衛門様・関田慶左衛門様	(嘉永5年)子8月26日	1通・切紙	せ28-46-2-18
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金7両につき) (松代)中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永5年)子9月	1通・切紙	せ28-46-2-19
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金5両につき) (松代)中町)穀問屋)松井孫兵衛→御蔵関田慶左衛門様・野田(野中)喜左衛門様	(嘉永5年)子9月19日	1通・切紙	せ28-46-2-20
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金20両につき) (松代)中町)穀問屋)松井孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永5年)子9月22日	1通・切紙	せ28-46-2-21
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金5両につき) (松代)中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永5年)子11月朔	1通・切紙	せ28-46-2-22
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金10両につき) (松代)中町)穀問屋)松井孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	(嘉永5年)子11月15日	1通・切紙	せ28-46-2-23
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金2両につき) (松代)中町)穀問屋(松井)孫兵衛→野中喜左衛門様	嘉永5年子12月15日	1通・切紙	せ28-46-2-24
穀問屋松井孫兵衛金銭受取証文〔覚〕(米代金22両2分につき) (松代)中町)穀問屋(松井)孫兵衛→関田慶左衛門様・野中喜左衛門様	嘉永5年子12月28日	1通・竪紙	せ28-46-2-25
穀問屋松井孫兵衛用状〔覚〕(金銭請取記録につき) (松代)中町)穀問屋)松井(孫兵衛)→-		1通・横切継紙	せ28-46-2-26
新兵衛書状(拝借金取調明日夕刻迄に送付につき)	5月10日	1通・切紙	せ28-46-2-27

新兵衛→(酒井)市治様			
某用状(拝借金取調雛形)		1通・縦紙	せ28-46-2-28
(借入金返済関係書類一括) 紙縫一括		1点・紙縫	せ28-47
(紙縫)			せ28-47-1
(田中九左衛門借入金並びに利息金返済記)		1冊・縦帳	せ28-47-2
(某借入金並びに利息金返済差引勘定帳)		1冊・縦帳	せ28-47-3
(菅鐵太郎借入金並びに利息金返済記)		1冊・縦帳	せ28-47-4
(明治元年より明治3年まで賜物受取記)		1冊・横長半	せ28-48
(紙縫) せ28-49-2の紙縫		1点・紙縫	せ28-49-1
(臨時金関係受払勘定帳)		1冊・横長半	せ28-49-2
(領内村々村名書上帳)		1冊・横長半	せ28-50
(幕末期諸品勘定等関係書類一括) 紙縫一括			せ28-51
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-51-1
[来巳正月二月御入料凡積](藩主・貞松院・大殿様等 諸入料につき)		1冊・横長半	せ28-51-2
(卯年検見取調帳)		1冊・横長半	せ28-51-3
(戊辰戦争出兵人員並びに給金勘定帳)		1冊・横長半	せ28-51-4
(上納金並びに入料金勘定帳) 下ケ札あり	7月	1冊・横長半	せ28-51-5
(入料金取調関係書類綴)			せ28-51-6
[品々御入料一ヶ月分凡取調申上] 御武具方→	慶応4年辰7月	1冊・横長半	せ28-51-6-1
(7月より12月まで品々御下ケ金凡調帳) 初方懸→	7月	1冊・横長半	せ28-51-6-2
某伺書(関門設置出張人の手当並びに賄代書出につ ぎ)		1通・切紙	せ28-51-6-3
表納戸用状(3・4月分入用金書出につぎ)(表納戸)→		1通・横折紙	せ28-51-6-4
御台所目付他一名申上書(3月～7月分入用金平均凡 調につぎ) 御台所目付・御買物役→	7月	1通・切紙	せ28-51-6-5
元々用状[覚](御雇大工支給金並びに木材代金等書 出につぎ) 元々→	7月	1通・横切継紙	せ28-51-6-6
某用状[覚](江戸入料品凡値段積につぎ)	7月	1通・横切継紙	せ28-51-6-7
(巳年より午年まで内借金取調帳)		1冊・横長半	せ28-52
(金銭勘定関係書類一括) 紙縫一括			せ28-53
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-53-1
(借金関係書類一括) 紙縫一括			せ28-53-2
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-53-2-1
斎藤善蔵金銭受取証文[覚](ならや善兵衛より御借 金1千両御納戸御余計之方へ預金につぎ) 斎藤善 蔵→竹村金吾殿	安政5年4月19日	1通・切紙	せ28-53-2-2
斎藤友衛当座中借金受取証文[覚](500両につぎ) 斎藤友衛→斎藤善蔵殿・水井市治殿・佐藤伊与之進殿他2	万延元年子12月2日	1通・横切継紙	せ28-53-2-3

3 藩政／財方／藩庁内諸金銭勘定

名			
佐川又左衛門当座中借金受取証文[覚](500両御納戸御余計の方へ預金につき) 佐川又左衛門→磯田音門殿 端裏書あり	安政5年10月14日	1通・横切継紙	せ28-53-2-4
関山平治才覚金受取証文写并添伺貼紙[覚](500両御納戸御余計の方への預金につき) 関山平治→高田幾太殿 端裏書あり	安政7年申2月21日	1通・切紙	せ28-53-2-5
某用状(中借金500両につき)	12月2日	1通・切紙	せ28-53-2-6
永野権三郎申上書并下ケ札(預金上納残金並びに郡代・借入金願の件了承願等につき) (永野)権三郎→御両君様	10月21日	1通・横切継紙	せ28-53-2-7
(嘉永3年12月より万延元年12月まで御借入金・返済金差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-53-3
(嘉永6年より安政3年まで御納戸当用へ才覚金預勘定帳並びに安政元年～同6年御勝手方元々当座御中金留書抜)		1冊・横長半	せ28-53-4
(上納金関係書類一括) 紙縫一括			せ28-53-5
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-53-5-1
[御借入金利足相渡元帳](中御所村・志川村他村々より借入分) 片桐(重之助)扣→	安政4年巳12月	1冊・横長半	せ28-53-5-2
(寅年から辰年御納戸方残金銭差引勘定帳)		1冊・横長半	せ28-53-5-3
(元方諸費受払勘定帳) (元方御金奉行)→		1冊・横長半	せ28-54
(元方諸費受払勘定帳) (元方御金奉行)→	7月	1冊・横長半	せ28-55
(宝暦10年村方御用達金上納人別帳)	宝暦10年辰	1冊・横長半	せ28-56
(拝借金関係書類一括) 紙縫一括			せ28-57
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-57-1
(御繰廻金並びに拝借金勘定帳)		1冊・横長半	せ28-57-2
(文化14年より文政2年まで村方拝借金勘定帳)	文政5年午5月	1冊・横長半	せ28-57-3
(卯年より未年まで里上・山中・町方・長国寺等より上納金勘定帳)		1冊・横長半	せ28-57-4
(領内村方拝借金取調帳) 拝借懸→	(文政5年)午8月	1冊・横長半	せ28-57-5
(金銭勘定関係書類一括) 紙縫一括			せ28-58
(紙縫)		1点・紙縫	せ28-58-1
(内借等借入金と江戸・京都御用等諸入費の勘定帳並びに佐藤殿上京のため提出の旨添伺貼紙)	(慶応4年7月)	1冊・横長半	せ28-58-2
(7月～12月入用金凡積勘定取調帳並びに帳面使用の旨の指示貼紙) 表紙付箋「先不用」		1冊・横長半	せ28-58-3
[犀川・煤裾)花川除御入料]		1冊・横長半	せ28-58-4

4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定

勘定所・計政局

某申渡状(水道役付足軽勤仕の件につき) →水道役中裏打あり、虫損あり大	3月11日	1通・横切継紙	せ30
御徒士頭願書[口上覚](焔焔拝借につき) 御徒士頭→	12月	1通・切紙	せ31
某申上書(端裏書)[長巻并附属之品々御出来之義二付申上]		1通・横切継紙	せ32
某用状(端裏書)[九月九日御手許より御下ケ物送](武具類につき)	正月	1通・横切継紙	せ33
文聡院様御刀番勤仕置并下ケ札[覚](文聡院様御供御用御供相勤両組之者江御手元被下候義伺) 文聡院様御刀番勤仕置→		1通・切紙	せ34
御奥元 ^ノ 役伺書(端裏書)[御用紙御増之儀再伺](認物多くにつき) 御奥元 ^ノ 役→	2月	1通・横切紙	せ35
計政副主事申上書(端裏書)[犀川用水床上仕越御普請之儀二付申上](願書) 計政副主事→	正月	1通・横切継紙	せ36
計政方申上書(端裏書)[大病院御入料薬種代御払之儀申上] 計政方→	11月25日	1通・横切継紙	せ37
[御内々奉嘆願](包紙) 原田亀尾→		1点・包紙	せ38-1
原田亀尾申立書(端裏書)[去々々御下ケ金之儀申立書面写](学政局入料等立替分御下げ願につき) 原田亀尾→竹内新七様 虫損あり	(明治4年)辛未8月	1通・横切継紙	せ38-2
(小銃製造伺書類一括) 紙縫一括			せ39
(紙縫) せ39を一括		1点・紙縫	せ39-1
武庫庶務申上書并武庫司事添伺貼紙(端裏書)[長中新身筒八拾三艇御修復御入料之内御中借之儀申上](職人の製造に支障のため) 武庫庶務→ 端裏に付箋あり	午8月	1通・横切継紙	せ39-2
武庫庶務申上書并武庫司事添伺貼紙(端裏書)[去辰年合葉製御入料并大小院製御入料之内御中借之儀申上](製造者遠方のため難渋につき) 武庫庶務→		1通・横切継紙	せ39-3
武庫司事伺書(端裏書)[小銃修復出来二付御金払之義伺](指示願につき) 武庫司事→		1通・切紙	せ39-4
水道役通達(長国寺惣御牌等参詣につき) 水道役→裏打あり		1通・横切紙	せ40
銃工山口近蔵他三名申上書(シヤコ元込銃等入料につき) 銃工山口近蔵・御鉄物師杉田口吉・同村松新十郎他1名→御武庫方御役所	午閏10月	1通・横切紙	せ41
河原敬之進書状(御所警衛出精のため熨斗目一拝領のお礼にき) 河原敬之進正方(花押)→鹿野茂衛様・祢津刑左衛門様	3月4日	1通・横折紙	せ42
[画幅買受証書](包紙) 柏谷東蔵→	(明治15年)10日	1点・包紙	せ43-1
柏谷東蔵画幅借用証文[記](画幅につき) 柏谷東蔵→荒川源吉様	(明治14年)巳旧11月21日	1通・横切紙	せ43-2

4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定

(鈴木安三郎内願書一括) 紙縫一括			せ44
(紙縫)			せ44-1
御勝手元 ^へ 申上書(端裏書)[鈴木安三郎内願并義候 二付申上] 御勝手元 ^へ 役 ^へ	11月	1点・紙縫	せ44-2
御勝手元 ^へ 申上書(端裏書)[鈴木安三郎御在所御暇 内願之義二付] 御勝手元 ^へ 役 ^へ	11月23日	1点・横切継紙	せ44-3
柘植彦六用状[覚](金200両預かりにつき) 柘植彦六 →高山口一郎殿	午正月	1通・切紙	せ45
矢野倉惣之進書状(掃除・減水の節内水止めにつき) 矢野倉惣之進→佐藤三九郎様・水野房五郎様 一部虫損あ り、奥裏書付あり	10月18日	1通・横切継紙	せ46
某用状(端裏書)[御借入金午利分并御返済金調] 裏打あり		1通・切紙	せ47
中嶋波之助申上書[覚](用立金100両返済願につき) 中嶋波之助(端裏書)[去年十一月中御用立金之儀二付申 上]、下部虫損のため裏打ち済	(明治4年)辛未5月	1通・横切継紙	せ48
(借入金等取調関係一綴)		1通・横切継紙	せ49
御勝手元 ^へ 伺書(端裏書)[矢澤右馬之助殿・依田又兵 衛・小山今右衛門京地擾乱等之節御手充之儀付伺] 御勝手元 ^へ →	4月22日	1通・横切継紙	せ49- 1
御収納郡方伺書(端裏書)[御扶持方之内今年限代金 渡方之儀伺] 御収納郡方 ^へ	6月24日	1通・横切継紙	せ49- 2
御勝手元 ^へ 申上書(端裏書)[組外之者江戸詰御切米 相場之儀付申上] 御勝手元 ^へ →	3月19日	1通・横切継紙	せ49- 3
御勝手元 ^へ 伺書(端裏書)[組外之者江戸詰御切米代 御手充之儀伺](米相場高騰のため増額の件につ き) 御勝手元 ^へ → 後半部に本文訂正の貼紙あり	3月8日	1通・横切継紙	せ49- 4
御収納郡方伺書(端裏書)[南角玄修去詰高被下之儀 二付伺](江戸長詰のため) 御収納郡方 ^へ	4月晦日	1通・切紙	せ49- 5
赤沢助之進用状(別紙伺いの通り了承につき) 赤沢 助之進→佐藤為之進殿	5月2日	1通・切紙	せ49- 6
御収納郡方伺書(端裏書)[御蔵奉行御手充伺](三井 清治他5名の手当につき) 御収納郡方 ^へ	12月	1通・切紙	せ49- 7
鎌原伊野右衛門用状(別紙伺いの通り了承につき) 鎌 原伊野右衛門→岡野弥右衛門殿 端裏部がせ49-7に付着	12月27日	1通・切紙	せ49- 8
糺方掛申上書(端裏書)[当掛詰所手狭之儀二付申上] (御用に支障のため詰所普請願につき) 糺方掛 ^へ	4月22日	1通・横切継紙	せ49- 9
御収納郡方伺書(端裏書)[糺方懸詰所之儀二付申上] (当役方手段金の内から普請取計につき) 御収納 郡方 ^へ	4月22日	1通・横切継紙	せ49-10
(糺方懸詰所図面)		1点・鋪	せ49-11
赤沢助之進用状(別紙伺いの通り了承につき) 赤沢 助之進→草間一路殿	4月29日	1通・横切継紙	せ49-12
(入用金関係書類綴)			せ50
某用状(礼金並びに年賦割金等金12万3582両内訳に つき)		1通・横切継紙	せ50-1
元 ^へ 用状(納戸預かり分等1,957両内訳につき) 元 ^へ		1通・切紙	せ50-2

元々用状(上ノ口御金並びに下ノ口御金書出につき) 元々		1通・横切紙	せ50-3
御金懸用状[御当用](金3万1780両内訳につき) 御金懸→ 後半部に貼紙あり		1通・横切継紙	せ50-4
御金懸用状[御繰廻](金3万6028両内訳につき) 御金懸→ 前半部に貼紙あり		1通・横切継紙	せ50-5
御内借懸用状(金3万6024両2歩内訳につき) 御内借掛→ 後半部に貼紙あり	(安政6年)末7月22日	1通・横切継紙	せ50-6
某用状[覚](社倉方御当金分4060両1歩6匁7分3厘内訳につき)	安政6年末6月	1通・横切継紙	せ50-7
某用状[覚](拝借懸・取立懸当用金等内訳書出) 端と奥を綴じ		1通・横切継紙	せ50-8
野中喜左衛門用状(午12月晦日までの別段繰廻金書出につき)		1通・横切継紙	せ50-9
某用状(拝借銀子807両余書出につき)		1通・切紙	せ50-10
某用状[覚](課業金並びに拝借金等書出につき)		1通・横切継紙	せ50-11
某用状[秀姫様上納金等書出につき]		1通・横切継紙	せ50-12
某用状[覚](春日儀左衛門取調分借財引当向々へ支給分等書出につき)		1通・横切継紙	せ50-13
吉野用状[元金取計](貞女様御内用御引当金午年元金等書出につき)		1通・横折紙	せ50-14
某用状(御前様繰廻午年元金等書出につき) 貼紙あり		1通・切紙	せ50-15
野中喜左衛門用状[野中喜左衛門取計](貞松院様繰廻金等拝借金取調につき) 野中喜左衛門→		1冊・横長半	せ50-16
某用状(4月～9月の拝借金等につき) 朱書あり		1通・横折紙	せ50-17
(山里課業銭関係一綴)			せ50-18
某用状(当用金として借込分等2万両余内訳につき) 貼紙あり		1通・横切継紙	せ50-18-1
某用状(代官南沢甚之助支配分山里課業銭取調につき)		1通・横切継紙	せ50-18-2
某用状(野本力太郎方支配分山里課業銭書出につき)		1通・横切継紙	せ50-18-3
某用状(長岡富五郎支配分課業銭等取調につき) 後半部に別文書を貼継		1通・横切継紙	せ50-18-4
某用状(中嶋渡浪支配分山里課業銭取調につき)		1通・横折紙	せ50-18-5
某用状[嘉永元申年より同四亥年迄課業銭上納辻](細田久作支配分取調につき)		1通・横折紙	せ50-18-6
別段御趣意拝借懸用状[覚](貸上納残金申年分元金等取調につき) 別段御趣意拝借懸→	申正月	1通・横折紙	せ50-19
某用状(野本力太郎支配分借入金等取調につき) 前半部に貼紙あり		1通・横切紙	せ50-20
某用状(借入金勘定につき)	未正月13日	1通・横切紙	せ50-21-1
南沢甚之介方用状(借入金勘定につき) 南沢甚之介→		1通・横切継紙	せ50-21-2
中島渡浪方用状[覚](巳並びに午年中上納金等書出) (中島)渡浪方→		1通・横切紙	せ50-21-3
細田久作方用状(巳年中・午年中上納金書出) (細田)		1通・横切紙	せ50-21-4

4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定

久作方→			
長岡富五郎申上書[覚](巳午兩年上納金等につき) 長岡富五郎→	正月	1通・横切継紙	せ50-21-5
(拝借懸関係一綴)			せ50-22
拝借懸用状(御当用御手当拝借金利息等書出につき) 拝借懸→		1通・横切継紙	せ50-22-1
拝借懸用状(家中手当金等借入金取調につき) 拝借懸→		1通・横切紙	せ50-22-2
別段御内借懸用状[覚](借入金取調につき) 下ケ札あり 別段御内借懸→		1通・切紙	せ50-22-3
某用状[御当用・御繰廻共御金掛手寄遣](納戸預かり分等返済金書出につき) 横半帳の一部		1通・横折紙	せ50-23
某用状(金1万498両3歩14匁5分8厘内訳につき)		1通・横折紙	せ50-24
拝借懸用状(2帳御金5708両1歩4匁2分8厘内訳につき) 拝借懸→		1通・横折紙	せ50-25
某用状(礼金並びに年賦割金上納分等3万9183両3歩8匁6分2厘内訳につき)		1通・横切継紙	せ50-26
某用状[社倉金之分](金2898両6匁4分7厘内訳、御礼金・年賦割金上納分等書出につき)		1通・切紙	せ50-27
某用状[天保六未年御手伝ニ付御借増取調 午年分当二而凡積]	3月	1冊・豎半	せ51
御膳立丸山治三郎受取証文[覚](当月分雑用代448文につき) 御膳立丸山治三郎→近藤権内殿 差出人名虫損あり		1通・切紙	せ52
某用状[記](御家令旅費手当金24円57銭5厘等につき)		1通・横切継紙	せ53
某用状[覚](鶴治他2名への扶持につき) 下部虫損あり		1通・切紙	せ54
(犀川筋普請勘定関係書類綴)			せ55
藤井喜内伺書(端裏書)[犀川筋御普請金引訳之義伺] 藤井喜内→ 虫損あり	□	1通・切継紙	せ55-1
藤井喜内申上書(端裏書)[御内々申上](勘定取決願につき) 藤井喜内→	2月	1通・切紙	せ55-2
某申上書(大塚村等8か村組合等去冬積金につき) 虫損あり	3月	1通・横切継紙	せ55-3
広土方伺書(端裏書)[川除御定金并御臨時金引訳之伺](引訳御払金取決につき) 広土方→ 端裏虫損あり	12月	1通・切継紙	せ55-4
某用状并勘定吟味指示書[申年御定金御元](未十月犀川通村々積金高申年支払分183両2歩13匁8分等につき)	12月	1通・横切継紙	せ55-5
某申上書[御内出之部](犀川筋洪水による臨時支出につき) 虫損あり、下ケ札あり、端裏書「二」	12月	1通・横切継紙	せ55-6
某用状[記](御賞武庫方から受取につき)		1通・横切継紙	せ56
望月権之進申上書[覚](鉤御金箱他2筆受取につき) 望月権之進→三井九郎左衛門様・金児惣左衛門様・三井善一郎様他1名	7月11日	1通・横切継紙	せ57
小野善四郎書状(負債取調帳面送付願につき) (小野)善四郎	4月晦日	1通・横切継紙	せ58

→市治様・(駒村)佐十郎様→ 端裏書「壬申五月七日達 小野氏」			
腰村和十郎用状〔覚〕(江戸表御上屋敷への上納為替金200両受取につき) 腰村和十郎→水野清右衛門様	9月15日	1通・縦切紙	せ59
大熊権大参事書状(御製造摺方ケツト1枚中借分払切につき) 大熊権大参事→矢野倉謙一郎殿	11月5日	1通・横切紙	せ60
某用状(牧野良平江府へ早追御用の内借20両等につき)→牧野良平殿		1通・切紙	せ61
某書状(端裏書)〔西京品々御入料御引当分不足〕(藩の手形不通用並びに借入金不能の件心配につき) 下ケ札あり、前半部折り目摩耗・端部分分離につき取り扱い注意	10月16日	1通・横切継紙	せ62
(納戸品々上納物受取証文一括) 袋一括			せ63
〔安政六〇年 御納戸品々上納物請取証文〕(袋) 反故紙を利用		1点・袋	せ63-1
(封筒) 御飛脚宰領組俊蔵・同良作→上 せ63-3入		1点・封筒	せ63-2
御飛脚宰領組良作他一名中借金受取証文〔御中借金証文之事〕(大坂表への道中往来仕切賄軽尻馬2匹賃銭並びに手当金1両1分につき) 御飛脚宰領組良作・同池田俊蔵→御金懸御役所 包紙も共に綴、包紙上書「上 御飛脚才領組池田俊蔵・同良作」	安政5年12月	1通・縦紙	せ63-3
御飛脚宰領組良作他一名中借金受取証文〔御中借金証文之事〕(大坂表への片道道中手当金並びに仕切賄料軽尻馬賃銭5両につき) 御飛脚宰領組良作・同組池田俊蔵→竹(竹村)金吾様御役所	安政5年10月26日	1通・縦紙	せ63-4
西寺尾村藤左衛門受取証文〔覚〕(御用達元金の内30両につき) 西寺尾村藤左衛門→高野覚之進様・片桐重之助様	嘉永5年12月	1通・横切継紙	せ63-5
春日儀左衛門他一名通用金引替手形〔覚〕(750両通用金と交換につき) 春日儀左衛門・在府無印水井忠蔵→松代町和助 端と奥を綴じ	万延元年11月朔日	1通・縦紙	せ63-6
春日儀左衛門他一名通用金引替手〔覚〕(500両通用金と交換につき) 春日儀左衛門・在府無印水井忠蔵→松代町和助 端と奥を綴じ	万延元年10月26日	1通・縦紙	せ63-7
宮下謙大夫金銭受取証文〔覚〕(御側別段繰廻御礼金20両につき) 宮下謙大夫→草間一路殿	文久2年12月	1通・縦継紙	せ63-8
〔堺新田村上納金御納戸預証文〕(封筒) 池田良右衛門→		1点・封筒	せ63-9
菊池浪治受取証文〔覚〕(小村唯蔵申立の境新田村初代金申年から亥年までの分13両2歩2朱8匁4分7厘につき) 菊池浪治→池田良右衛門殿 包紙共に綴じ、包紙上書「境新田村上納金御納戸内預証文 池田良右衛門」	嘉永6年3月4日	1通・縦紙	せ63-10
宮下謙大夫金銭受取証文〔覚〕(御手許御用鳥犀角代料5両2歩3朱につき) 宮下謙大夫→斎藤友衛殿	文久2年閏8月	1通・切紙	せ63-11
某振替預証文(須坂田中九八郎300両借入証文紛失につき)	辰11月27日	1通・切紙	せ63-12
伊藤源太郎金銭受取証文〔覚〕(当亥年三人扶持18俵代金9両につき) 伊藤源太郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿・関田荘助殿	文久3年12月22日	1通・縦切紙	せ63-13
伊藤源太郎金銭受取証文〔覚〕(当亥年利息下ケ金25両につき) 伊藤源太郎→酒井市治殿・水野清右衛門殿・関田荘助殿	文久3年12月22日	1通・縦切紙	せ63-14
東江部村山田荘左衛門金銭受取証文〔覚〕(御用達金	文久3年12月24日	1通・横切紙	せ63-15

4 藩政・真田家／財方・家計／藩庁内・真田家内諸金銭勘定

当亥年分利子281両2歩2朱2匁5分につき) 東江部村山田荘左衛門→松代酒井市治様			
西村源藏受取証文[覚](大坂炭屋藤五郎為替金千94両1歩1匁5分5厘内預につき) 西村源藏→草間元司殿	安政3年12月23日	1通・堅切紙	せ63-16
紺屋町源兵衛他二名願書[乍恐以書付奉願候](要用のため出府2900両につき) 紺屋町源兵衛・左助・兵藏→郡御奉行所		1通・横切継紙	せ63-17
齋藤善藏金銭受取証文[覚](嘉永元年6月囲金中借分返上の残金121両10匁につき) 齋藤善藏→高田幾太殿	安政7年2月6日	1通・横切継紙	せ63-18
(課業銭貸遣金受取証文綴 嘉永6年正月～3月)			せ63-19
佐川又左衛門受取証文[覚](課業銭内預分子年貸遣御礼金15両につき) 佐川又左衛門→長谷川源三郎兵衛殿	嘉永6年正月16日	1通・切継紙	せ63-19-1
齋藤善藏受取証文[覚](課業銭貸遣御礼金3両2朱2匁5分5厘につき) 齋藤善藏→長谷川源三郎兵衛殿	嘉永6年2月朔日	1通・切継紙	せ63-19-2
大嶋富作受取証文[覚](課業銭貸遣元金の内上納分3両2歩4匁5分9厘につき) 大嶋富作→長谷川源三郎兵衛殿	嘉永6年2月朔日	1通・切紙	せ63-19-3
菊池浪治受取証文[覚](課業銭貸遣子年礼金の内上納分5両につき) 菊池浪治→岡嶋荘藏殿	嘉永6年3月23日	1通・切紙	せ63-19-4
片岡弘人金銭受取証文[覚](400両につき並びに納戸余慶方にて預かる旨) 片岡弘人→長谷川三郎兵衛殿	文久3年20月	1通・切紙	せ63-20
中島宇吉他一名金銭受取証文[覚](引替元金200両につき) 中島宇吉・佐竹周藏→入久左衛門殿・野中喜左衛門殿	安政3年12月23日	1通・横切紙	せ63-21
片桐重之助金銭受取証文下書[覚](田中川開発・河原川除手段金繰廻金15両につき) 片桐重之助→館孝右衛門殿 宛所もう一名「鈴木藤太殿」抹消	嘉永5年正月	1通・堅紙	せ63-22
徳嵩恒吉受取証文[覚](去春中変災の出来米代金498両2歩6匁9分2厘につき) 徳嵩恒吉→竹村金吾殿・磯田音門殿	嘉永元年4月20日	1通・堅紙	せ63-23
館孝右衛門受取証文并卷上付札[覚](樹芸懸入料出来拝借金15両につき) 館孝右衛門→片桐重之助殿・高野覚之進殿	嘉永4年12日	1通・堅紙	せ63-24
徳嵩恒吉受取証文并卷上付札[覚](江戸表非常囲米代金600両預かりにつき) 徳嵩恒吉→磯田音門殿・竹村金吾殿	嘉永元年12月9日	1通・堅紙	せ63-25
小山田菅右衛門受取証文并卷上付札[覚](御手許非常囲金1,000両につき) 小山田菅右衛門→長谷川深美殿	嘉永5年5月	1通・堅紙	せ63-26
宮下兵馬用状[覚](高川泰順手寄才覚借入金500両送金につき) 宮下兵馬→岡嶋荘藏殿・竹村金吾殿	弘化2年12月	1通・堅紙	せ63-27
水井市治金銭受取証文[覚](差掛御用借金返上分100両につき) 水井市治→草間一路殿 端裏に貼紙あり	文久3年3月6日	1通・切継紙	せ63-28
片岡弘人受取証文[覚](当用貸出金11両3歩3匁5分につき) 片岡弘人→草間一路殿	文久3年2月	1通・切紙	せ63-29
水井市治金銭受取証文[覚](当用貸出金利息1両2歩2朱2匁5分につき) 水井市治→草間一路殿	文久3年3月4日	1通・切紙	せ63-30
綿内右門金銭受取証文[覚](山本要左衛門扶持代金2両3歩2朱583文につき) 綿内右門→齋藤友衛殿	文久2年閏8月	1通・堅紙	せ63-31
某用状[御元金貳千両之御利分](万延元年より文久2		1通・切紙	せ63-32

年まで利息合計600両につき)			
大熊謙太郎受取証文[覚](三村銀太郎母への内々拝借金15両につき) 大熊謙太郎→長谷川三郎兵衛殿	文久3年11月	1通・堅紙	せ63-33
某用状(3月26日中借等1,110両内訳等につき)		1通・横折紙	せ63-34
西村源兵衛金銭受取証文[覚](当亥年6月12日中借金返金50両につき) 西村源兵衛→斎藤友衛殿	文久3年10月3日	1通・切紙	せ63-35
上村何右衛門金銭受取証文[覚](当用貸出礼金2両2歩につき) 上村何右衛門→斎藤友衛殿	文久3年9月	1通・切紙	せ63-36
片岡弘人金銭受取証文[覚](当用貸出利息の内預け分34両2朱2匁5分につき) 片岡弘人→斎藤友衛殿	元治元年4月10日	1通・切継紙	せ63-37
草間一路他一名金銭受取証文[覚](困金増上納分の内より中借金5千両につき) 草間一路・長谷川三郎兵衛→斎藤善蔵殿・水井一路殿・佐藤伊与之進殿他1名全文抹消	文久2年12月	1通・堅紙	せ63-38
斎藤善蔵金銭受取証文[覚](当亥年4月5日中借金返金分30両につき) 斎藤善蔵→長谷川三郎兵衛殿	文久3年7月17日	1通・切継紙	せ63-39
宮下兵馬送金証文[覚](加藤遠江守からの借入金1,000両につき) 宮下兵馬→竹村金吾殿・磯田音門殿	弘化4年4月	1通・堅紙	せ63-40
長谷川三郎兵衛送金証文[覚](古二朱金引替済分300両につき) 長谷川三郎兵衛→佐藤安喜殿・柘植嘉兵衛殿	文久3年4月22日	1通・切紙	せ63-41
宮下謙大夫金銭受取証文[覚](申年から戌年までの繰廻礼金3年分600両につき) 宮下謙大夫→草間一路殿	文久2年12月	1通・切紙	せ63-42
西村源蔵金銭受取証文[覚](借入内預金200両正金引替につき) 西村源蔵→草間元司殿	安政3年12月29日	1通・切紙	せ63-43
駒村佐十郎金銭受取証文[覚](御用達金40両等につき) 駒村佐十郎→酒井市治殿・丸山保次殿・水野清右衛門殿	文久3年3月	1通・堅紙	せ63-44
高野覚之進他一名中借金受取証文[覚](狩野様への返金100両を中借金として受取につき) 高野覚之進・片桐重之助(奥書)磯田音門→斎藤善蔵殿・佐川又左衛門殿・金山平治殿他1名	安政5年10月11日	1通・切紙	せ63-45
高井三九郎金銭受取証文(為替金300両につき) 高井三九郎→片桐重之助様・高野覚之進様	嘉永2年12月22日	1通・切継紙	せ63-46
徳嵩恒吉金銭受取証文[覚](605両8分4厘につき) 徳嵩恒吉→竹村金吾殿・磯田音門殿	嘉永元年6月14日	1通・横切継紙	せ63-47
水井市治金銭受取証文[覚](当用貸出元金23両3朱7分5厘につき) 水井市治→草間一路殿	文久3年2月	1通・切紙	せ63-48
矢野倉謙兵衛受取証文[覚](当用貸出礼金3両1歩1朱1匁2分5厘につき) 矢野倉謙兵衛→草間一路殿	文久4年3月4日	1通・切紙	せ63-49
(真田幸貫乗出等関係江戸屋敷経費勘定書類綴)			せ64
某申上書并下ケ札(端裏書)[御普請金調](若殿御乗出のための江戸屋敷普請等につき) 端裏書「一」		1通・横切継紙	せ64-1
某申上書并付札・下ケ札(端裏書)[御普請金并御昇進御入料返上方差引調](中借金等入料と返済金の差引勘定につき並びに中借金にて取計等の旨) 端裏書「二」		1通・横切継紙	せ64-2
某申上書并付札・下ケ札[覚](御乗出のための江戸有金内々に取調につき) 端裏「三」		1通・横切継紙	せ64-3
某申上書并付札・下ケ札(端裏書)[御乗出御入料調]		1通・横切継紙	せ64-4

5 藩政／預所・財方／預所運用金中借

(不足金取調につき) 端裏「四」			
興津権右衛門他一名内々申上書[覚](江戸の有金のうち御殿普請金・昇進入料・納代金・江戸表御囲金等差引勘定につき) 興津権右衛門・岡嶋荘蔵→ 端裏書「御内々申上」		1通・横切継紙	せ64-5
興津権右衛門他一名申上書[覚](乗出に関わる江戸屋敷入費凡積取調につき) 興津権右衛門・岡嶋荘蔵→ 下ケ札あり		1通・横切継紙	せ64-6
出納懸書状(端裏書)[横浜谷屋善士郎御賞義御内々申上](矢代村安兵衛借入金の御用の褒美並びに横浜谷屋善士郎へ借入金につき) 出納懸→ 虫損あり	10月	1通・横切継紙	せ65
[被 仰渡御書付](袋) 反古紙使用、袋上部に紙縫あり		1点・袋	せ66-1
某書状(用水一件の取扱いにつき) 虫損甚大のため端裏書判読困難、せ66-1に巻込み一括	3月18日	1通・横切継紙	せ66-2
吉津恒五郎金銭受取証文[覚](戌年利息3ヶ月分3両2朱1匁5分につき) 吉津恒五郎→丸山安治様	文久2年4月3日	1通・切紙	せ67
(江戸廻証文留綴)			せ68
[海防臨時御出馬之節御供被仰付候向御手充金并横浜表御警衛被仰付候付遣役御手充金共証文留(並下ケ札)		1冊・横長半	せ68-1
某用状并下ケ札[海防臨時御出馬之節御供被仰付候向御手充金内半高被下残之分証文留](並下ケ札) 下ケ札脱落注意		1通・横折紙	せ68-2
宮本慎助他二名書状(4,000両為替江戸の片岡十兵衛へ支給願につき) 宮本慎助・宮沢兵治・宮本喜一郎→増田房平様・岡本加平様 虫損あり、前欠	9月22日	1通・横切継紙	せ69
[口上覚](包紙) 包紙上書「御承知二而下候」、虫損甚大		1点・包紙	せ70-1
佐藤三九郎他一名伺書[口上覚](外圍の用水路の場所手入につき) 佐藤三九郎・水野房五郎→	10月	1通・切紙	せ70-2
(包紙) (真田)志摩→	巳	1点・包紙	せ71-1
某用状(藩主御発途のため柘植嘉兵衛他8名明曉謁見につき) 札「御意 留守中入倉相勤候様」あり	(巳)	1通・横切継紙	せ71-2
御勘定吟味申上書(端裏書)[御用詰御足輕勤方之義付申上](足輕奉行の伺書へ付札にて回答につき) 御勘定吟味→	正月28日	1通・切紙	せ72
割番伺書并足輕奉行添伺貼紙(端裏書)[御用詰御足輕之内御在所勤仕居候者交代月二付御減方之儀伺] 割番→	正月	1通・横切継紙	せ73

5 藩政／預所・財方／預所運用金中借

勘定所・計政局

(拝借証文等金銭関係書類一括 慶応4年～明治2年) 巻込一括			せ1-10
窪田利左衛門他一名拝借証文[覚](1万両札御拝借のうち3ヶ月賦金250両につき) 窪田利左衛門・相原音五郎→太田藤右衛門殿 内側から番号付与	明治元年辰11月18日	1通・縦紙	せ1-10-1

6 藩政／預所・財方／預所村々貸出元金勘定 7 藩政／預所・在方／預所村々拝借金

太田藤右衛門内借金受取証文[覚](旧藩御用達金一件入用50両につき) 太田藤右衛門→会計方御中	明治3年午12月	1通・豎紙	せ1-10-2
中村鍊蔵金銭受取証[証](御内用につき御内借金170両につき) 中村鍊蔵→太田藤右衛門殿	明治2年巳3月13日	1通・豎紙	せ1-10-3
太田藤右衛門用状[証](明治2・3年分藩へ貸出金書出につき) 太田藤右衛門→会計方御中	明治4年辛未12月	1通・豎紙	せ1-10-4
窪田利左衛門他一名金銭受取証文[覚](千曲川・犀川筋堀割堤防御普請入用金680両につき) 窪田利左衛門・相原音五郎→太田藤右衛門殿 掛紙あり	明治元年辰12月	1通・豎紙	せ1-10-5
御預所捕亡小林権治郎他一名金銭受取証文[覚](御預所御内用につき中山道筋へ出役御入料御内借金50両につき) 御預所捕亡小林権治郎・小池龍吉→太田藤右衛門殿 掛紙あり	慶応4年辰正月	1通・豎紙	せ1-10-6
相原音五郎金銭受取証文[覚](御預所高当割御拝借金5千両のうち2ヶ月分83両1分・永83文3分につき) 相原音五郎→太田藤右衛門殿	明治2年巳正月	1通・豎紙	せ1-10-7
松代庁会計方差紙(旧松代藩へ調達金言上につき) 松代庁会計方→雨宮村・生萱村・森村右村々三役人	2月27日	1通・横切継紙	せ1-10-8

6 藩政／預所・財方／預所村々貸出元金勘定 計政局

(拝借証文一括 明治3年) 紙縫一括 (紙縫)			せ1-12
岸善八金銭拝借証文[覚](高割金札拝借已御割合1,500両東京において為替上納の内500両につき) 岸善八→片岡半十郎殿・三沢清美殿 端裏に朱書の押紙あり	明治3年午正月	1通・豎紙	せ1-12-1
岡野敬一郎金銭受取証文[覚](御預所石高当年割上納金1,500両につき) 岡野敬一郎→片岡半十郎殿・三沢清美殿	明治3年午11月	1通・豎紙	せ1-12-3

7 藩政／預所・在方／預所村々拝借金 勘定所

和平組名主吉兵衛他三名拝借証文[差上申拝借証文之御事](拝借金2分を成年より2ヶ年賦上納につき) 和平組名主吉兵衛・組頭林右衛門・長百姓仲右衛門他1名→御勘定所拝借御懸り御役所	寛政2年戌2月	1通・豎紙	せ1-7
細田久作年貢割付状[已御年貢土目録](下小嶋村分) 細田久作→下小嶋田村	明治2年巳12月	1通・豎紙	せ1-8
(拝借証文等金銭関係書類一括 安政4年～明治3年) 巻込一括			せ1-9
水内郡後町村拝借人松橋久左衛門他二名拝借証文[拝借金証文之事](松代預り役所繰り廻し御用金300両につき) 水内郡後町村拝借人松橋久左衛門・親類大久保藤七・組合小林忠八→松代御預り御役所 内側から番号付与、貼り紙・掛け紙による修正あり、端裏書「後町村」、水内郡荒木村名主篠原丹次奥書・印形あり	明治2年巳10月	1通・豎継紙	せ1-9-1

8 藩政／郡方／道中人馬賃銭

徳田治郎左衛門他二名拝借証文[拝借金返納方之事] (金100両のうち返納残金84両を賞典高18石代金のうちより年々30両宛元利返納につき) 徳田治郎左衛門・親類櫻井佳人・同岡嶋慶蔵→松代元御預所御役所	明治3年庚午12月	1通・豎紙	せ1-9-2
拝借主徳田治郎左衛門他二名拝借金証文[拝借金証文之事](松代預り役所非常入用金300両拝借につき知行高のうち広田村収納粉14俵宛町相場を以て元利返納) 拝借主徳田治郎左衛門・親類櫻井佳人・同岡嶋慶蔵→松代御預所御役所	慶応4年辰4月	1通・豎紙	せ1-9-3
柿崎良作拝借証文[覚](役所手段金30両拝借につき) 柿崎良作→佐竹周蔵殿・中嶋宇吉殿・海沼龍助殿 端裏書『二十番』(朱書) 巳十二月廿三日 柿崎良作殿	安政4年巳12月	1通・豎紙	せ1-9-4
拝借主小野権兵衛他二名拝借証文[拝借金証文之事](松代御預所御役所別段繰り廻し金50両拝借につき10両宛8ヶ年返納につき) 拝借主小野権兵衛・小野柔四郎→松代御預所御役所	明治元年辰12月	1通・豎紙	せ1-9-5
小野権兵衛頼証文[御頼申一札之事](年々10両宛御金懸より受取金子の内から返納依頼につき) 小野権兵衛→太田藤右衛門殿	明治元年辰12月	1通・豎紙	せ1-9-6
拝借人富岡喜代之助他三名拝借証文[拝借金証文之事](御役所別段繰廻し御用金200両拝借につき御切米より粉30俵宛元利返納につき) 拝借人富岡喜代之助・組合加判富岡茂助・同花見齋兵衛・同堀内蔵治→松代藩御預所御役所	明治2年巳12月	1通・豎紙	せ1-9-7

8 藩政／郡方／道中人馬賃銭 勘定所

(道中人馬賃関係一括 慶応2年) 包紙一括			せ92
[証文](包紙)		1通・包紙	せ92-1
人馬懸小池元作他四名金銭受取証文[覚](道中人馬賃等100両につき) 人馬懸り荒井弥平・鳥羽友作・羽生田徳右衛門・町田元吉他1名→御目付方御役所	(慶応2年)寅5月5日	1通・豎紙	せ92-2
人馬掛荒井弥平他四名金銭受取証文[覚](道中人馬賃等150両につき) 人馬掛荒井弥平・鳥羽友作・羽生田徳右衛門・小池元作他1名→御目付方御役所	慶応2年寅5月	1通・豎紙	せ92-3
岸太五之丞申上書(困金600両上納につき) 岸太五之丞→ 端裏書あり	8月16日	1通・横切紙	せ92-4
宮下三郎治金銭受取証文[覚](道中小荷駄方入料内借金100両につき) 宮下三郎治→岸太五之丞	5月7日	1通・豎紙	せ92-5
市川繁司願書(別紙証文落手につき) 市川繁司→水野清右衛門様	8月25日	1通・横切紙	せ92-6
(8月23日分金銭書出)		1通・切紙	せ92-7
(金銭書出)		1通・切紙	せ92-8
某用状(道中困金1,416両書につき)		1通・切紙	せ92-9
某用状(1,584両非常困金書出につき)		1通・横切紙	せ92-10

9 藩政／番方／武具調達

勘定所・計政局

(武具新調並びに修復御用関係一括) 紙繕一括			せ74
(紙繕)		1点・紙繕	せ74-1
武庫庶務伺書[覚](代官町皮細工師佳太郎並びに同坂田屋新兵衛へミニ銃等下賜につき) 武庫庶務→	3月	1通・横切継紙	せ74-2
(武具新調・修復御用関係綴 明治3年)	明治3年		せ74-3
代官丁革物師佳太郎願書[覚](諸色高直により胴乱損傷の黒塗修理代金値上げにつき) 代官丁革物師佳太郎→御武具方御役所	明治3年3月8日	1通・切紙	せ74-3-1
代官丁革物師佳太郎請求書[覚](薬箱等代金につき) 代官丁革物師佳太郎→御武具方御役所	3月8日	1通・切紙	せ74-3-2
坂田屋新兵衛請求書[覚](小銃玉薬箱代金につき) 坂田屋新兵衛→	(明治)3年3月	1通・縦紙	せ74-3-3
坂田屋新兵衛請求書[覚](胴乱等修理代金につき) 坂田屋新兵衛→武庫局庶務御役所	(明治)3年3月	1通・横切継紙	せ74-3-4
新兵衛願書(端裏書)[御還納兵器取扱候武庫方之物へ御酒被下之義申上](荷物取り纏めの褒美として酒下賜につき) 新兵衛→	正月18日	1通・横切継紙	せ75
助長補他一名願書(端裏書)[局々爐御出来之義再伺](寒気のため炉設置につき) 助長補・補給士→	(明治3年)閏10月	1通・切紙	せ76
副隊長補伺書(端裏書)[左嚮導局爐(カ)御出来之義再伺](寒冷のため炉設置につき) 副隊長(長)補→	(明治3年)閏10月	1通・切紙	せ77
才領懸新村八重治申上書[覚](入料積金約57両1歩につき) 才領掛新村八重治→	未5月	1通・横切継紙	せ78
某書状(米買一件の御用日延願につき) 虫損甚大		1通・横切継紙	せ79
武具送り用状[覚](スイツツル銃の数量等書出につき)		1通・横切継紙	せ80
宮沢彦治用状[覚](雷火銃数等書出につき) 宮沢彦治→	辰7月2日	1通・横切継紙	せ81
某用状(元込銃落掌につき)		1通・横切紙	せ82
増田徳左衛門願書(借入地所及び所持土蔵修復のため入料金拝借につき) 増田徳左衛門→	7月26日	1通・横切継紙	せ83
武庫司事用状[覚](銃2組製造入料等金銭調べにつき) 武庫司事→		1通・横切紙	せ84
某用状(武具数書出につき)		1通・横切継紙	せ85
某用状(ミニエール銃所持者名面書)		1通・横切紙	せ86
御普請方伺書(要三郎の件割合上納につき) 御普請方→	12月	1通・横切継紙	せ87
(ライフル・ミール銃手入修復料関係綴 明治4年)			せ96
武庫庶務申上書(ライフル並びにミール銃手入修復入料の件中借につき) 武庫庶務→ 端裏書あり	(明治4年)辛未4月27日	1通・横切継紙	せ96-1
武庫主事伺書(入料金中借につき) 武庫主事→ 端裏書あり	(明治4年)辛未4月	1通・横切紙	せ96-2

10 藩政／厚生治療 11 藩政／家臣・財方／拝借金

武庫庶務申上書(ライフル・ミール銃手入修復入料の 件中借につき) 武庫庶務→ 端裏書あり	(明治4年)辛未5月	1通・横切継紙	せ96-3
[御直書](包紙)		1点・包紙	せ97
(玄米代金受取証文)		1冊・豎半	せ98
高田實金銭受取証文[証](上下並びに雑用代金につき) 高田實→海沼辰男殿	明治3年午3月	1冊・豎紙	せ99
御勝手元へ申上書(兩人詰増につき) 御勝手元へ→ 端裏書あり	8月	1通・横切紙	せ100
小銃方頭取伺書(小銃方角前折の件引替につき) 小銃 方頭取→ 端裏書あり	(明治)3年午閏10月	1通・横切紙	せ101
御勝手元へ申上書並下ケ札(詰番出府の件給金上納に つき) 御勝手元へ→ 端裏書あり	8月	1通・横切紙	せ102
硝石製懸元へ伺書並付札(硝石入料中借了解につき) 硝石製懸元へ北村要之丞・同宮入半左衛門→ 端裏書あり	2月	1通・切紙	せ103
(普請人足関係綴)			せ104
御賄役用状(普請人足8人分増につき) 御賄役→	閏8月	1通・横切紙	せ104-1
某用状(新規足軽8人につき)		1通・切紙	せ104-2
某用状(人足13名書出)		1通・切紙	せ104-3
某用状(改付人並びに引渡人につき)		1通・切紙	せ104-4

10 藩政／厚生治療 勘定所

(御薬種代金関係書類一括) 紙綴一括			せ4
飯島與作伺書(端裏書)[病氣御入料御薬種代金御下 ケ之儀伺](残金請求別紙3通につき) 飯島與作→	6月	1通・横切紙	せ4-1
美濃屋左兵衛請求書[覚](期日金額書上につき) 美 濃屋左兵衛→御用大病院	午6月	1通・横折紙	せ4-2
一文番屋彦治郎請求書[覚](期日金額書上につき) 一文番屋彦治郎→上	6月12日	1通・横折紙	せ4-3
大丸屋惣兵衛請求書[覚](期日金額書上げにつき) 大丸屋惣兵衛→大病院御役所	午6月	1通・切紙	せ4-4

11 藩政／家臣・財方／拝借金 勘定所

(借用証文綴)			せ120
長谷川三郎兵衛借用証文[覚](金5両につき) 長谷川 三郎兵衛/(奥印)御勘定吟味助三沢刑部丞→西村源藏殿	嘉永6年丑10月3日	1通・豎紙	せ120-1
佐野三郎借用証文[覚](公儀御用のため出府諸入用5 両につき) 佐野三郎/(奥印)草間元司→金井弥惣左 衛門殿	嘉永7年寅5月	1通・豎紙	せ120-2

中村健治他一名借用証文[覚](在所へ判物送付のため各2両拝借につき) 中村健治・片岡亀之進／(奥印)草間元司→西村源藏殿	安政2年卯2月	1通・竪紙	せ120-3
宮本彦之進他一名借用証文[覚](小西惣兵衛御手当のため銀30枚拝借につき) 宮本彦之進・片岡十郎兵衛→西村源藏殿	安政3年辰正月	1通・竪紙	せ120-4
小山織江他二名借用証文[覚](大風雨災による難渋のため各金3分拝借につき) 小山織江・富岡文藏・小山東弥太／(奥印)草間元司→西村源藏殿 掛札あり	安政3年辰9月2日	1通・竪紙	せ120-5
関口助九郎借用証文[覚](風災のため金5両1分拝借につき) 関口助九郎／(奥印)草間元司→西村源藏殿	安政3年辰9月	1通・竪紙	せ120-6
山口豊治借用証文[覚](大風雨災のため金1両2分拝借につき) 山口豊治／(奥印)草間元司→西村源藏殿	安政3年辰9月	1通・竪紙	せ120-7
片山亀之介借用証文[覚](大風雨災のため金3分拝借につき) 片山亀之介／(奥印)草間元司→西村源藏殿	安政3年辰9月	1通・竪紙	せ120-8
口野龍助他八名借用証文[覚](風災のため各2分拝借につき) 口野龍助・島田竹次郎・戸根山豊馬他6名／(奥印)土井口之助／(奥印)草間元司→西村源藏殿	安政3年辰9月16日	1通・竪紙	せ120-9
富岡宗三郎他一名借用証文[覚](風災のため金1両2分拝借につき) 富岡宗三郎・牧野大右衛門／(奥印)草間元司→西村源藏殿 奥上部破損	安政3年辰9月	1通・竪紙	せ120-10
宮嶋通珉借用証文[覚](風災のため金7両拝借につき) 宮嶋通珉→西村源藏殿 後欠、掛札あり	安政3年辰9月	1通・竪紙	せ120-11
宮本彦之進借用証文[覚](手当として金1両2分拝借につき) 宮本彦之進／(奥印)草間元司→西村源藏殿	安政6年末6月	1通・竪紙	せ120-12
玉井進一郎他二名借用証文[覚](長谷川深美付添のため金6両拝借につき) 玉井進一郎・今井友之進・伊藤房吉／(奥印)草間元司→西村源藏殿	安政6年末7月	1通・竪継紙	せ120-13
内林平藏他一名借用証文[覚](駕籠等の手当未払いのため金4両3分拝借につき) 内林平藏・藤井浅右衛門／(奥印)草間元司→西村源藏殿	安政6年末12月	1通・竪継紙	せ120-14
長谷川藤左衛門借用証文[覚](駕籠等の手当未払いのため金5両拝借につき) 長谷川藤左衛門／(奥印)内林平藏／(奥印)草間元司→西村源藏殿	安政6年末12月	1通・竪継紙	せ120-15
片岡亀之進借用証文[覚](帰城時用意支障のため金1両3分拝借につき) 片岡亀之進／(奥印)片岡十郎兵衛→福田小平太殿	万延元年申6月	1通・竪紙	せ120-16
中村健治借用証文[覚](帰城時立支障のため金1両2分拝借につき) 中村健治／(奥印)片岡十郎兵衛→福田小平太殿	万延元年申6月	1通・竪紙	せ120-17
堀内市三郎借用証文[覚](藩主帰城の御供のため出府手当金1両2分拝借につき) 堀内市三郎／(奥印)片岡十郎兵衛→福田小平太殿	万延元年申6月	1通・竪紙	せ120-18
宮本彦之進借用証文[覚](詰辻書役手当金1両2分拝借につき) 宮本彦之進／(奥印)片岡十郎兵衛→福田小平太殿	万延元年申6月	1通・竪紙	せ120-19
片岡金一郎他一名借用証文[覚](順操院様付き添い用意差し支えのため各2両拝借につき) 片岡金一郎・片岡千吉／(奥印)片岡十郎兵衛→福田小平太殿	万延元年申3月	1通・竪継紙	せ120-20
山本左太夫借用証文[覚](詰番勤め手当1ヶ年分金1両2分拝借につき) 山本左太夫／(奥印)佐藤安喜→遠藤小右衛門殿	文久元年酉6月	1通・竪紙	せ120-21

11 藩政／家臣・財方／拝借金

宮本彦之進借用証文〔覚〕(詰辻書役手当金1両2分拝借につき) 宮本彦之進／(奥印)佐藤安喜→遠藤小右衛門殿	文久元年酉6月	1通・堅紙	せ120-22
大日方通借用証文〔覚〕(藩主帰城の供のため出府手当金1両2分拝借につき) 大日方通／(奥印)佐藤安喜→遠藤小右衛門殿	文久2年戌2月	1通・堅紙	せ120-23
竹花富之進借用証文〔覚〕(寺社朱印付添いの手当として金2両拝借につき) 竹花富之進／(奥印)佐藤安喜→遠藤小右衛門殿	文久2年戌2月	1通・堅紙	せ120-24
太田藤右衛門借用証文〔覚〕(帰国用意支障のため金1両3分拝借につき) 太田藤右衛門／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久2年戌8月	1通・堅紙	せ120-25
大塚峯治借用証文〔覚〕(詰番勤め手当1ヶ年分金1両2分拝借につき) 大塚峯治／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久2年戌10月	1通・堅紙	せ120-26
佐藤小左衛門借用証文〔覚〕(御前様帰国御供の用意のため金1両3分拝借につき) 佐藤小左衛門／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久2年戌10月	1通・堅紙	せ120-27
小泉市二借用証文〔覚〕(藩主帰城の御供のため出府手当金1両2分拝借につき) 小泉市二／(奥印)佐藤安喜→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・堅紙	せ120-28
長岡茂市借用証文〔覚〕(詰辻勤め手当1ヶ年分金1両2分拝借につき) 長岡茂市／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・堅紙	せ120-29
春原六左衛門他二名借用証文〔覚〕(貞松院在所へ帰国の御供の手当金21両拝借につき) 春原六左衛門・鎮目実之助・藤田専蔵／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・堅紙	せ120-30
河原岩右衛門他二名借用証文〔覚〕 河原岩右衛門・西山恒三郎・瀧澤千百人／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・堅紙	せ120-31
岡田新兵衛借用証文〔覚〕(貞松院在所入り御供の用意支障のため金6両拝借につき) 岡田新兵衛／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・堅紙	せ120-32
松井大治郎他三名借用証文〔覚〕(貞松院在所へ帰国の御供の手当金6両拝借につき) 松井大治郎・桑名理内・中村小一郎他1名／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・堅紙	せ120-33
佐藤小左衛門借用証文〔覚〕(貞松院在所へ帰国の御供の手当金1両3分拝借につき) 佐藤小左衛門／(奥印)柘植嘉兵衛→池田富之進殿	文久3年亥3月	1通・堅紙	せ120-34
小銃組小頭三井芳治他一名借用証文〔覚〕(出府入料難渋のため金32両2分拝借につき) 小銃組三井芳治・同宮入三治／(奥印)宮沢徳太郎・宮下力之助／(奥印)高橋清兵衛／(奥印)佐藤安喜→御金御奉行所	文久3年亥6月	1通・堅紙	せ120-35
御持筒組小頭町田鶴蔵借用証文〔覚〕(出府入料難渋のため金13両2朱拝借につき) 御持筒組小頭町田鶴蔵／(奥印)高野専之助／(奥印)佐藤安喜→御金御奉行所	文久3年亥6月	1通・堅紙	せ120-36
御持筒組小頭酒井周兵衛借用証文〔覚〕(出府入料難渋のため金13両2朱拝借につき) 御持筒組小頭酒井周兵衛／(奥印)池村良太郎／(奥印)高橋清蔵／(奥印)佐藤安喜→御金御奉行所	文久3年亥6月	1通・堅紙	せ120-37

12 藩政／家臣／勤役／御用勤向き借入金

勘定所

(内借・内預り等諸証文関係書類一括 嘉永元年～慶応2年) 紙縫一括			せ3
(紙縫)		1点・紙縫	せ3-1
小左衛門書状案(御参府御道中御入料諸向中借切手早速送付通知につき) 小左衛門→御払方様 せ3-2～4は巻込一括	7月10日	1通・横切紙	せ3-2
田澤民治用状[覚](田澤喜兵衛内預金1両3分御請取切手紛失のため発見次第返上届につき) 田澤民治→関山平治殿・湯本十学殿・鹿野外守殿	嘉永6年丑11月5日	1通・横切紙	せ3-3
払方御金奉行用状(道中御囲金3千両御供目付伺の通り承済の件心得につき) 払方御金奉行→ 端裏書「払方御金奉行」		1通・横切紙	せ3-4
(内借証文綴 安政3年12月～文久2年5月8日)			せ3-5
谷口左仲他三名内借証文[覚](当戌年帰城御道中御膳物品々并本陣へ下さる御目録御借方御賄代其外小買物品々御入料引替のため中借不足の分金64両2分・4匁4分2厘につき) 谷口左仲・坂口又治・松木源八他1名→		1通・横切紙	せ3-5-1
関山平治他四名内借証文[覚](参府につき道中囲金並びに増囲金250両につき) 関山平治・谷口左仲・福田小平太他2名→	安政6年末5月28日	1通・横切紙	せ3-5-2
助関山平治他四名内借証文[覚](去ル辰年帰城道中御入料金のうち18両につき) 助関山平治・谷口左仲・福田小平太他2名→	安政6年末正月22日	1通・横切紙	せ3-5-3
助関山平治他四名内借証文[覚](去ル辰年帰城道中台所品々入料引替につき中借不足の分金34両1分・1匁1分につき) 助関山平治・谷口左仲・福田小平太他2名→	安政6年末正月27日	1通・横切紙	せ3-5-4
谷口左仲他三名用状[覚](当戌年帰城召馬2疋御貸馬2疋道中品々入料引替につき中借り不足の分金3分・8分8厘につき) 谷口左仲・坂口又治・松木源八・白川綾次郎→	文久2年戌5月8日	1通・横切紙	せ3-5-5
坂口又治他二名内借証文[覚](帰城につき道中御入料金300両につき) 坂口又治・松木源八・白川綾次郎→ 金額部分押紙「(朱点)・御勘定吟味交代付割印無御座候」	文久2年戌3月	1通・横切紙	せ3-5-6
坂口又治他二名内借証文[覚](帰城のため道中御囲金250両につき) 坂口又治・池田富之進・松木源八→	文久2年戌2月	1通・横切紙	せ3-5-7
関山平治他三名内借証文[覚](帰城につき道中御入料金300両につき) 関山平治・三村大之助・竹内金左衛門他1名→ 金額部分押紙「(朱点)・御勘定吟味交代二付割印無御座候」	安政3年辰4月4日	1通・横切紙	せ3-5-8
助関山平治他四名内借証文[覚](当4月中帰城道中召馬借馬路用金中借引替の処中借不足の分金1分余につき) 助関山平治・三村大之助・竹内金左衛門他2名→	安政3年辰12月	1通・横切紙	せ3-5-9
助関山平治他三名内借証文[覚](当辰年帰城道中入料金の内6両につき) 助関山平治・三村大之助・山岸左内他1名→	安政3年辰12月	1通・横切紙	せ3-5-10

12 藩政／家臣／勤役／御用勤向き借入金

御払方用状〔覚〕(安政2年参府道中入料金のうち江戸表にて取替金16両1分並びに銭978文送付につき) 御払方→(西村源蔵)	5月22日	1通・横切紙	せ3-6
某用状(安政2年2月より安政3年5月21日まで内借金書出につき) 下ヶ札付		1通・横切紙	せ3-7
桑名左金太願書〔覚〕(切米金4両野中友右衛門へ引渡につき) 桑名左金太→西村源蔵殿・安藤右膳殿・大日向四郎兵衛殿他1名	嘉永元年申12月	1通・横切紙	せ3-8
西村源蔵用状〔覚〕(文政9年～嘉永4年拝借金証文預かり分書出につき) (西村)源蔵→(関山)平治様・(湯本)十学様・(鹿野)外守様	丑7月	1冊・横長半	せ3-9
五人用状(松本賢五郎内借金4両引替済につき) 五人→(西村)源蔵様	12月8日	1通・横切紙	せ3-10
大草仲岱返書并書入御報(内借拝借金勝手方恩田頼母5ヶ年賦無利足上納につき) 大草仲岱→西村源蔵様	万延元年申4月29日	1通・横切紙	せ3-11
依田富之進他四名書状(端裏書)〔御書面之通金六拾五両貳分銭二百五拾五文并帳面老帳髓落手仕候則預印書差遣申候〕(家中定府並びに長詰面々12月渡御切米送付につき) 依田富之進・坂口又治・福田小平太他2名→西村源蔵様	11月14日	1通・横切紙	せ3-12
富岡民治金銭受取証文〔覚〕(北沢杵之助切米金1分2朱6匁8分6厘につき) 富岡民治→関山平治様	嘉永6年丑7月	1通・横切紙	せ3-13
某用状〔覚〕(中借証文並びに人馬賃銭中借之内預金証文差引勘定につき) 端裏書「辰5月23日出」		1通・横切紙	せ3-14
西村源蔵他三名内預証〔覚〕(当申6月帰城道中厩品々入料金1分と銭460文につき) 西村源蔵・谷口左仲・坂口又治他1名→	万延元年申9月24日	1通・横切紙	せ3-15
西村源蔵他三名内預証〔覚〕(去去年帰城之節医師囲薬種両不足分につき) 西村源蔵・谷口左仲・坂口又治他1名→	万延2年酉2月	1通・横切紙	せ3-16
松本源八内預証〔覚〕(貞松院様御道中入用金100両につき) 松本源八→西村十郎右衛門殿 印墨塗り抹消	文久3年亥4月21日	1通・横切紙	せ3-17
堤千治郎内預証〔覚〕(御前様御道中通し日雇賃金之内内預金12両につき) 堤千治郎→大内源之助殿 印墨塗り抹消	文久3年亥2月16日	1通・横切紙	せ3-18
堤千治郎内預証〔覚〕(貞松院様御入料金15両内預につき) 福田小平太→大内源之助殿 印墨塗り抹消	文久4年子正月11日	1通・横切紙	せ3-19
堤千治郎内預証〔覚〕(貞松院様御道中御入料金120両中借につき) 池田富之進→西村十郎右衛門殿 印墨塗り抹消	文久4年子2月4日	1通・横切紙	せ3-20
(包紙) 西村源蔵→御用 関山平治殿・谷口左仲殿		1点・包紙	せ3-21
西村源蔵書状(安政2年御判物道中派遣の際付添内借金12両等問合につき) (西村)源蔵→御五人様	8月7日	1通・横切紙	せ3-22
西村源蔵用状(定府長詰向7月渡切米金残金2両2分返却につき) (西村)源蔵→平治様・大之助様・金左衛門様他2名	8月7日	1通・横切紙	せ3-23
五人用状并西村源蔵勘返状(定府御切米金につき並びに渡元帳差し上げ御預印書落手の旨) 五人→(西村)源蔵様	7月20日	1通・横切紙	せ3-24
西村源蔵書状(望月顕蔵殿御内借証文差し上げ等に	7月29日	1通・横切紙	せ3-25

つき) (西村)源蔵→平治様・大之助様・金左衛門様他2名 (包紙) 篠原良意→谷口左仲様		1点・包紙	せ3-26-1
篠原良意書状(昨午年道中囲葉種料上納分内預けに て借切手御引替につき) 篠原良意→谷口左仲様 包 紙共	7月3日	1通・横切紙	せ3-26-2
西村源蔵他三名内借証文[覚](御帰城御道中御囲金 250両につき) 西村源蔵・谷口左仲・坂口又治他1名 →	万延元年申6月12日	1通・横切紙	せ3-27
西村源蔵他三名内借証文[覚](御帰城御道中御入料 金300両内借覚につき) 西村源蔵・谷口左仲・坂口又 治他1名→	万延元年申6月12日	1通・横切紙	せ3-28
西村源蔵他三名内借証文[覚](去申年帰城道中台所 入料之分18両2分1匁6分5厘につき) 西村源蔵・谷 口左仲・坂口又治他1名→	万延2年酉3月	1通・横切紙	せ3-29
(内預証文綴 元治2年3月2日～慶応2年1月12日)			せ3-30
山田兵衛内預証文[覚](元治元年御上京御駕籠御供 手元金94両内預請取につき) 山田兵衛→藤井浅右 衛門殿 印墨塗り抹消	慶応元年丑12月23日	1通・横切紙	せ3-30-1
池田富之進内預証文[覚](元治元年上京御駕籠御供 御手元金90両内預請取につき) 池田富之進→藤井 浅右衛門殿 印墨塗り抹消	慶応2年寅正月21日	1通・横切紙	せ3-30-2
池田富之進内預証文[覚](元治元年12月中御前様道 中入料之内金180両内預請取につき) 池田富之進 →館孝右衛門殿・今井友之進殿 印墨塗り抹消	慶応元年丑12月28日	1通・横切紙	せ3-30-3
馬場広人内預証文[覚](御前様出府道中御入料金50 両内借につき) 馬場広人→今井友之進殿・館孝右衛門 殿 印墨塗り抹消	元治2年丑3月2日	1通・横切紙	せ3-30-4
五人用状[覚](大日方渡内借金10両初方にて支給の 件並びに源蔵請取一札につき) 五人→(西村)源蔵 様	2月	1通・横切紙	せ3-31
飯島与作用状[覚](当3月中池田平角内預け金7両引 戻しにつき) 飯島与作用→西村源兵衛殿	(慶応元年)丑9月	1通・横切紙	せ3-32
桑名弥一郎切米受取証文[覚](当申御切米御渡につ き) 桑名弥一郎→西村源蔵殿	万延元年申12月	1通・横切紙	せ3-33
五人受取証文并源蔵勘返状(北沢新平ほか1名上納金 1両3分受取につき並びに受取一札) 五人→(西村) 源蔵様	12月8日	1通・横切紙	せ3-34
関山平治受取証文[覚](山崎卓馬金3両2分拝借証文 1通送付につき引替一札) 関山平治→金井弥惣右衛 門殿 1ヶ所印墨塗り抹消	嘉永7年寅10月	1通・横切紙	せ3-35
御内借懸金銭受取証文[覚](田中九左衛門ほか1名金 1両2分並びに銭1貫608文引上御渡につき) 御内 借懸→御払方様	安政4年巳10月	1通・横切紙	せ3-36
(内借金関係書類綴)			せ3-37
大里忠之進内借証文[覚](戊5月御買物所御入料金之 内金3両につき) 大里忠之進→西村源蔵殿・谷口左仲 殿・坂口又治殿・松本源八殿・白川綾次郎殿	(文久2年)戊6月	1通・横切紙	せ3-37-1
鹿野伴治内借証文[覚](御飛脚増路銭并御手元金2両 につき) 鹿野伴治→谷口左仲殿・福田小平太殿・松本源 八殿・白川綾次郎殿・堤千治郎殿	亥2月	1通・横切紙	せ3-37-2

12 藩政／家臣／勤役／御用勤向き借入金

池田富之進他四名書状并西村源藏勘返状(長滞府之面御手充金109両並びに渡元帳送付につき並びに受取一札) 池田富之進・坂口又治・福田小平太他1名→西村源藏様	12月8日	1通・横切紙	せ3-38
大里忠之進願書[覚](和宮様御通行の節内借受払残金240両切手2通支給願につき) 大里忠之進→福田小平太様・山田兵衛様	文久4年子正月23日	1通・横切紙	せ3-39
中川清兵衛金銭受取証文(小野里清之進並びに中山兵助兩人切米金受取につき) 中川清兵衛→	(万延元年)申12月	1通・横切紙	せ3-40
遠藤小右衛門用状[覚](今般御参府のため道中入料諸向中借金295両2分の証文9通引替につき) 遠藤小右衛門→西村源藏殿・谷口左仲殿・福田小平太殿他2名	文久元年酉6月	1通・縦切紙	せ3-41
西村源藏書状(長滞府之面当日御手当金113両2分並びに渡元帳馬場弥三郎御手当金12両送付につき)(西村)源藏→御五人様	12月6日	1通・横切紙	せ3-42
五人用状并西村源藏勘返状[覚](塚田内蔵助内借金1両差し遣わすにつき並びに源藏受取一札) 五人→(西村)源藏様	2月22日	1通・横切紙	せ3-43
五人用状并西村源藏勘返状[覚](安政5～6年倉島小右衛門並びに内借金3両2歩受取一札) 五人→(西村)源藏様	12月19日	1通・横切紙	せ3-44
西村源藏用状(端裏書)[午御帰城御囲金預証文](帰城道中囲金並びに諸向御入料金合550両送付につき)(西村)源藏→御五人様 端裏朱書「午十月中かり証文出来付返す」	6月28日	1通・横切紙	せ3-45
遠藤小右衛門用状[覚](長詰御手当金160両受け取り預け置くにつき) 遠藤小右衛門→西村源藏様・谷口左仲様・坂口又治様・池田富之進様・松木源八様	文久元年酉12月	1通・縦切紙	せ3-46
池田富之進他四名書状(御家中長滞府之面当午御手充金98両2分差し遣わすにつき並びに源藏請取一札) 池田富之進・坂口又治・福田小平太他2名→西村源藏様	12月16日	1通・横切紙	せ3-47
某用状(御奥女中在所より差し越す際の道中宿々人馬賃銭他品々御入料金につき) →(西山恒三郎)		1通・横切紙	せ3-48
西村源藏書状(去年中奥女中出府道中入用西山恒三郎中借一条勘定不調法につき)(西村)源藏→御五人様	10月19日	1通・横切紙	せ3-49
五人用状并西村源藏勘返状[覚](未7月～辰4月井上宗兵衛他12名11口内借金48両1分差し遣わすにつき並びに受取一札) 五人→(西村)源藏	正月22日	1通・横切継紙	せ3-50
(内預金預関係書類綴、元治元～明治2年)			せ29
倉田三之丞内預金受取証文[覚](徒士羽織代上納13両分につき) 倉田三之丞→三村大之助殿	安政3年辰6月21日	1通・切紙	せ29-1
上村何右衛門内預金受取証文[覚](100両余納戸余慶方へ預金につき) 上村何右衛門→池田富之進殿	元治元年子7月10日	1通・切紙	せ29-2
平林吉之助内預金受取証文[覚](50両余につき) 平林吉之助→西村源兵衛殿	元治元年子10月12日	1通・切紙	せ29-3
水井市助内預金受取証文[覚](50両につき) 水井市治→池田富之進殿	(元治元年)子11月22日	1通・切紙	せ29-4
平林吉之助内預金受取証文[覚](50両余につき) 平林吉之助→西村源兵衛殿・池田富之進殿	元治元年子12月27日	1通・切紙	せ29-5